

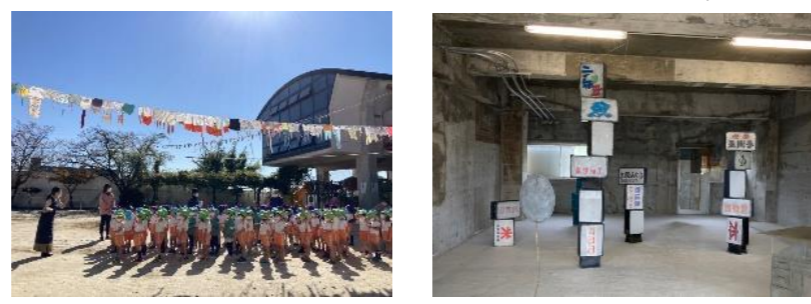
# 令和4年度の活動状況

## (1) 他団体との連携プロジェクト

### ①瀬戸現代美術展 2022 の開催

瀬戸現代美術展実行委員会により9月17日(土)～10月23日(日)にかけて瀬戸ゆかりのアーティストによる現代美術の展覧会が団地内を周遊する形で開催された。開催に際して瀬戸市やみんなの会とも連携し、市内外へ菱野団地の魅力発信やみんなの会の活動についても幅広くPRされたほか、団地内の居住者にはアンケートへの回答により観覧券が配布され、みんなの会の認知度や団地の居住意向を調査した。また、食と音楽のプログラムである「ひしの夜市」や「朝ごはんの会」も実施され、ワークショップで作られた家具も活用される中、多くの来場者が訪れた。

展覧会来場者：1,715名  
夜市・朝ごはんの会来場者：約1,500名  
アンケート回答者：117名



また、会場受付を活動拠点の前に設置するとともに開催期間中はみんなの駄菓子屋も併せて開店したほか、出展アーティスト達の草刈って花さかそプロジェクトへの参加や開催後の懇親会等、みんなの会と連携した活動も行われた。



### ②出張！せとらカフェの開催

11月30日(水)にチームオレンジメンバーにより「出張！せとらカフェ」が開催され、認知症クイズや認知症予防運動プログラム、口腔ダンスやラップ(瀬戸の情熱)などを行い、認知症に対する理解を深めた。



### ③新しい住まいづくりワーキングの開催

愛知県建築局の若手職員の基礎知識の習得や課題の共有・分析とこれからの住宅施策の検討等を目的として行われている新しい住まいづくりワーキングが10月17日(月)に菱野団地にて実施された。「郊外住宅団地の課題と施策を考える」をテーマに市の若手職員も加わって団地内を見学した後、気づいた点や課題についての解決策を考えるワーキングを行った。



### ④その他の取り組み

8月27日(土)に行われた夏まつりでは、瀬戸の和太鼓グループ天くうに依頼し、太鼓で祭りを盛り上げた。

## (2) センター地区整備プロジェクト

### ①中央広場ワークショップ

7月14日(土)より全3回にわたり、昨年度活動拠点DIYに協力いただいた3大学5研究室及びみんなの会とともに活動拠点前の中央広場整備について考えるワークショップを実施した。

#### 協力大学

大学	学部	学科	研究室
名城大学	理工学部	建築学科	谷田真 研究室
		社会基盤デザイン工学科	鈴木温 研究室
南山大学	総合政策学部	総合政策学科	石川良文 研究室
愛知工業大学	工学部	建築学科	野澤英希 研究室
			益尾孝祐 研究室

日時：第1回 7月14日(土) 10時～15時30分 参加者数：66名  
 第2回 8月24日(水) 13時30分～16時30分 参加者数：39名  
 第3回 9月27日(火) 13時30分～16時30分 参加者数：35名

内容：第1回ワークショップでは菱野団地の現状把握や広場利用のイメージをつかむため、団地内のまち歩きを実施し、広場に求める要素を抽出した。第2回ワークショップでは、第1回の結果を踏まえ中央広場の具体的な整備イメージ等について、グループごとにアイデアの発表及び共有を行った。第3回ワークショップではイベントに向けて広場の草刈りや清掃、イベント等に使用する家具製作を行った。



提案された整備イメージ



### ②拠点整備ワークショップ

有志の大学生と拠点整備のワークショップを実施した。駄菓子屋付近の壁面の塗装や壊れていた棚の修繕、家具の製作等を行った。

日時：12月11日(日) 13時30分～16時30分 参加者数：37名



### ③令和4年度 菱野団地中央広場環境整備工事

中央広場の花壇にウッドデッキを設置する工事を1月31日から3月30日予定で実施している。

## (3) エリアマネジメント団体プロジェクト

### ① みんなの駄菓子屋

目的：安心して子育てでき、子どもや若者が健やかに育つ環境を構築する。  
 誰もが気軽に立ち寄り、多様な世代が交流できる居場所をつくる。

実施状況：昨年度より開店日を増やし、周知を行う事で、小中学生や家族連れ、地域の高齢者など、幅広い世代の来客が見られるようになった。

開店日：現代美術展の開催を契機に開業日を増やし、毎週水・土曜日の10時からに加え、平日も午後3時から日没まで開店している。

来場者数：約7,300名(4月～12月末)  
 売上：約150万円(4月～12月末)



## ② みんなのだべりば

目的：相談事などを傾聴し、解決につなげる。専門知識が必要な相談には、専門家紹介などの懸け橋となる。  
実施日：毎週水曜日の10時～12時

## ③ 草刈って花咲かそプロジェクト

目的：みんなの会の自走に向けて、継続可能な事業として運営費を創出する。  
将来的には、草を刈った跡地に花を植え、「自分たちのまちの風景を育む」活動として、やりがいや生きがいを創出する。  
実施状況：昨年度に引き続き、市からの受託業務（2節分で計70万円）として、瀬戸現代美術展の出展作家も参加し、菱野団地緑地帯の草刈りを年2回（夏・秋）行った。



## ④ 多世代農園

目的：花壇整備等の活動を通じて多世代の交流を図る。  
実施状況：菱野団地中央広場において花壇整備を行ったほか、「みんなの駄菓子屋」にて募金いただいた方へ花壇で栽培した種の配布、花壇へ設置した掲示板を活用した情報発信等を行った。



## ⑤ みんなの会活動拠点の愛称決定

実施状況：活動拠点の愛称を「ひしのミナクル」に決定し、4月に実施したわいわいフェスティバルの開会式にて、最優秀賞及び優秀賞の表彰を行った。

## ⑥ わいわいフェスティバル

目的：団地内外の交流を図るとともに、みんなの会の活動周知、団地の課題解決に向けた情報収集を行う。  
実施状況：本年度は新型コロナウイルスの流行が落ち着いた事もあり、春・夏・秋の計3回を実施した。  
春は瀬戸工科高校の協力のもとミニ瀬戸電の走行イベントを実施し、八幡小 PTA(OB)による射的も実施された。夏も射的や金魚すくいなどの他、アルコール販売や盆踊りを実施するなど規模を拡大したこともあり、多くの来場者が見られた。  
また、秋は花と緑のまちづくり協議会主催によるハンギングバスケット教室も同時に開催され、団地外からも来場者が訪れた。

### ■春のわいわいフェスティバル

【開催日】4月30日（土）10時～15時  
【来場者数】約2,000人

### ■わいわい夏まつり

【開催日】8月27日（土）15時～21時  
【来場者数】約2,000人

### ■プチ秋まつり

【開催日】11月26日（土）10時～15時  
【来場者数】約450人



## ⑦ 視察対応

名古屋学院大学…まち歩きを行い、菱野団地の魅力や団地が抱える課題について現状を把握した。  
その他愛知県蟹江町や岩手県遠野市、長野県長野市の視察対応を行った。

## ⑧ かわら版の発行

目的：みんなの会の活動内容や進捗状況を広く周知する。  
実施状況：かわら版（第9号・第10号）を作成し、菱野団地内に配布した。みんなの会活動拠点の紹介や愛称募集の結果、令和4年度の取組み状況の紹介、イベントの開催情報等を掲載した。

## ⑨ アンケートの実施

わいわい夏まつりにて、みんなの会の活動周知及び課題の把握の為、中央広場についてのアンケート調査を行った。また、プチ秋まつりの会場及び周辺へのポスティング（回答期間：2週間程度）にて、名城大学鈴木ゼミの学生が中央広場ワークショップ活動等の周知及び中央広場の整備に関するアンケート調査を行った。  
集計数：54名（わいわい夏まつり）、127名（秋、大人用97名、子ども用30名）

## ⑩ ICTを活用したプロモーションの実施

目的：団地再生の基本方針の一つとしている「若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり」を推進する。  
実施状況：令和元年度に作成した菱野団地HPのほか、Facebook及びInstagramを活用して、みんなの会の活動情報等の発信を行っている。今年度はFacebookの更新に力を入れており、フォロワー数が増加した。また、SNSの投稿をきっかけに中京テレビ『ゴリ夢中』の取材も受け、ひしのミナクルや菱野団地全体の紹介も行ったほか、ひしのミナクルを利用する他団体とも連携してプロモーションを行った。



### 【プロモーションの実施状況】

情報発信媒体	集計結果	
菱野団地 HP	(R4.1～R4.12)	「お知らせ」投稿数 9 件、HP アクセス 21,521 件
	(R3.1～R3.12)	「お知らせ」投稿数 14 件、HP アクセス 20,937 件
みんなの会 Facebook	(R5.1時点)	フォロワー数 434 人、投稿数 63 件 (R4.1～R4.12)
	(R4.1時点)	フォロワー数 329 人、投稿数 22 件 (R3.1～R3.12)
みんなの会 Instagram	(R5.1時点)	フォロワー数 316 人、累計投稿数 109 件
	(R4.1時点)	フォロワー数 229 人、累計投稿数 107 件、

## ⑪ 運営資金の創出

運営資金創出のため、令和3年に採択されたSOMPO福祉財団の助成金に続き、大和証券福祉財団のボランティア活動助成に応募し、採択された。高齢者の生涯学習や子どもを対象としたワークショップ開催のためにパソコンやプロジェクター等を購入し、Wi-Fi環境を整えていく予定である。

## （4）住民バスプロジェクト

### 住民バスの運行


目的：団地内の生活交通を確保するとともに、団地外との交流を促進する。  
実施状況：名鉄バス等と乗り継ぎができる住民バスを運行（年末年始を除く平日）し、まち歩き等のイベント時には臨時運行も行った。  
なお、運転手の高齢化が課題となっており、持続可能な運行のため広報や地元回覧等で運転手の募集を行っている。


4月～12月末 運行実績  
 運航日数：184日  
 運行便数：1,828便  
 利用者数：15,367人  
 1便平均：8.41人  
 （前年平均：8.86人）  
 ※運転手除く定員9名

## みんなの会 令和4年度活動状況及び令和5年度活動予定

令和4年度は with コロナの中で取り組める事業としてみんなの会の活動の柱となる下記を実施した。令和5年度は、プロジェクトごとにロードマップを作成し、目的や具体的な数値目標を設定した上で地域住民や地元事業者等と連携した拠点活用や多文化共生、イベント開催等に向けて活動を行う。

		活動候補		活動状況		予定	
		活動名称	内容	令和4年度		令和5年度	
核づくり期 (令和3年度)	【足場固め】 ビジョンを 実現するための 土台作り	活動拠点の管理運営	活動拠点を利活用し、維持管理・運営体制を構築する	○	活動拠点の管理方法や運営日等を検討しながら実施	継続	運営体制の強化 運営日の検討
		交流の場づくり	多世代の人がふらりと立ち寄っておしゃべりができるような拠点の環境整備を行う	○	大学生との協働により家具等を製作、壁や天井の塗装や掲示物の見直しなど環境整備を実施	継続	多世代の交流 立ち寄りやすい環境整備
		草刈り	市から委託した団地内の草刈り事業を小規模の区画で実施する	○	《草刈って花咲かそ》 年2回(夏・秋)に菱野団地緑地帯の草刈りを実施	継続	参加者の増加
	【柱】 地域のために 大切な事業	わいわいフェスティバル	中央広場を活用し、団地内外の交流や団地の課題解決に向けた情報収集などを目的としたイベントを開催する。	○	4月(わいわいフェスティバル)、8月(夏まつり)等を開催し、団地内の交流やにぎわいづくりを行った。	継続	商店街との連携強化 活動の周知
		多世代農園	たねだんご作り体験、花壇整備(植える、収穫する)等を実施する。	○	《TEAMふれあいば(多世代農園)》 中央広場の花壇を整備、情報発信用の掲示板を活用	継続	参加者の増加
		子どもの居場所づくり	子どもが放課後に集まりたいと思えるようなスペースを整備する(駄菓子販売など)	○	《駄菓子屋》 活動拠点において駄菓子を販売し、来場者と交流	継続	多世代の交流
		井戸端相談所	地域住民が各々の得意分野を活かし、気軽な相談にのったり、専門的な相談先を教えられる場を設ける。	○	《だべりば》 活動拠点をサロン・休憩所・相談室として活用	継続	利用者の増加
		カフェ運営	活動拠点を活用し、休憩やおしゃべりができるカフェの運営を行う(セルフ利用の運営形態を想定)	○	拠点にセルフ利用のポットを設置し、休憩等で利用できる環境とした。	継続	利用者の増加
		キッチンカー・朝市・軽トラ市	既に活動している団体等と連携し、中央広場等においてマルシェ等を開催する	○	中央広場や拠点前にキッチンカーを手配したり、マルシェ等のイベントを開催した。	継続	関係人口の増加
		飲食系イベント	地元飲食関係者と連携を図り、屋台やビアガーデンイベントを開催	○	8月に夏まつりを開催したが、地元飲食関係者との連携が一部にとどまった。(商店街との連携強化)	継続	商店街との連携強化
		みんな De 健康体操	既に行われている活動などと連携し、多彩な内容の健康体操イベントを開催	△	認知症予防を目的とした出張せとらカフェを開催した。	継続	参加者の増加 定期的・継続的な実施
		テレワークスペース整備	テレワークや学生が自習できるようなスペースを整備	△	大和証券の助成金を活用し、Wi-Fi環境を整える予定。宿題をする子どもたちの姿も見られる。	継続	学習利用の推進(夏休み午前等) 利用者の増加
		実験・持続期 (令和4年度以降に 取り組む活動)	情報発信媒体の有効活用	看板、かわら版、HP等にスポンサー広告欄を設ける	△	中京テレビの取材を受けたり、GoogleMapsに情報を掲載するほかSNSで活動の投稿も積極的に行っているが広告収入を得るまでの露出には至っていない。	継続
小規模講座	体験教室やワークショップを定期的で開催する		○	親子ひろばや正月飾り体験、ピラティス講座などが開催され、一部は定期開催になっている。	継続	参加者の増加 定期的・継続的な実施	
貸し陳列棚	活動拠点に棚を設置し、スペースを貸し出す		△	棚は設置されたが、利用目的等については今後検討していく。	継続	事業化等について検討	
ミニコンサート	看板、かわら版、HP等にスポンサー広告欄を設ける		○	賑わいづくりのための歌やウクレレの無料コンサートを数回開催した。(広告収入を得る目的ではない。)	継続	多世代の交流 協賛事業の実施(光の切り絵)	
放課後クラブ	大学生らの協力による、小学生を対象とした放課後クラブ(仮称)を実施する		△	放課後訪れる小学生も増え、駄菓子屋運営を手伝う大学生も来ているので繋いでいくことを検討する。	継続	多世代の交流 学習支援などの検討	
多文化共生	外国人が気軽に悩み事を相談できる体制をつくる。		—	現状把握(各台での取り組み共有、ヒアリングなど)	新規	ニーズ調査、ヒアリング ブラジル人学校や日本語教室との連携	

 令和4年度から実施の活動

 令和4年度に実施できなかった活動

再生計画のプロジェクト進捗状況 ～ 再生に向けた先行プロジェクトの取り組み状況 ～

資料2

先行プロジェクト	取組方針	主体	平成30年度 の取組	短期(1~3年後)			中長期 ～	実施状況	中長期の展開	
				令和元年度	令和2年度	令和3年度				
①センター地区整備プロジェクト	1 空き店舗などの既存ストックを生かし、「学び・遊び・語り合い」など多様な活動ができる場所の創出を図ります。	市 再生協議会 エリマネ団体	活動拠点の 検証		Ⓐ活動拠点の 整備			・活動拠点の整備(エアコン、水道、電気) ・トイレ、コミュニティスペースの整備 ・キッズスペースや室内遊具の整備 ・学生と協働での家具制作	・利用状況に応じた環境整備 ・大学コンソーシアムでの取り組み	
	2 中央広場を誰もが気持ちよく利用できるよう、バリアフリー化などの環境整備を推進します。	市 再生協議会 エリマネ団体	中央広場の 一部改修				Ⓑ中央広場の 改修	・学生と協働での整備案作成 ・住民と大学・学生等との協働整備(草刈り、高圧洗浄) ・ウッドデッキ設置工事	・中央広場環境整備工事の実施	
	3 既存駐車場の利用状況を勘案し、駐車場の利用ルールづくりを推進します。	公社 市 再生協議会						Ⓒ効率的な駐車場の活用	・菱野センター第1駐車場を民間事業者が活用 ・イベント時における商店街駐車場の活用(商店街への周知)	・路上駐車対策と駐車場の確保
②エリアマネジメント団体プロジェクト	1 住民・事業者・地権者などが主体となって、地域経営(エリアマネジメント)を積極的に行い、地域価値の向上を図ります。	市 再生協議会 エリマネ団体	住民WSの 実施	エリアマネジメントの準備会 活動継続	Ⓓエリア団体の設立			・エリアマネジメント団体の設立 ・収益事業の実施(草刈り、駄菓子屋運営、イベント)	・メンバーの増員 ・中央広場等の公共施設の指定管理 ・収益事業の充実	
	2 三台が共同で開催するイベントやまちづくり活動を企画し、センター地区の賑わいを創出します。	市 再生協議会 エリマネ団体	菱野団地 わいわい フェスティバル		Ⓓ収益事業の実施			Ⓔセンター地区賑わい創出事業	・わいわいフェスティバルなどの開催(年1~3回) ・マルシェやフリーマーケットの開催 ・瀬戸現代美術展2022の開催	・定期的なイベントの開催 ・商店街や事業者等との連携 ・市や公社、他団体との連携
	3 恵まれた子育て環境、豊かな自然など、菱野団地のメリットを団地の外へPRし、子育て世代の転入を促進します。	エリマネ団体 事業者	Facebook, 口コミ等 情報発信		Ⓓエリア再生マネージャーの派遣			ⒻICTを活用したプロモーション	・SNSやHPを活用したプロモーション ・メディア取材への書き込み ・Google Mapsへの登録・口コミ(ひしのミナクル)	・情報発信の継続・強化 ・デジタル弱者への支援(スマホ教室の開催など)
	4 子育て支援の充実や教育環境の改善を図り、心安らく場所づくりを推進します。	エリマネ団体 事業者						Ⓖ親と子どもの居場所づくり	・育児サロンや地域子育てサロンの充実 ・子ども食堂の開催 ・子どもや若者が気軽に立ち寄れる居場所づくり(ひしのミナクル)	・地域で子どもの成長を見守り支援する環境づくり
	5 高齢者が気軽に集うことのできる居場所をつくるなど、福祉サービスの充実を図ります。	エリマネ団体 事業者						Ⓖ高齢者の居場所づくり	・健康講座や介護予防教室等の開催(せとらカフェ) ・だべりばの運営 ・移動販売車等の買い物支援	・高齢者の活動場所の提供 ・健康講座や介護予防教室の充実 ・子どもや若者との交流会の開催
	6 子どものいる外国人の保護者が悩みごとを相談しやすい窓口を設けるなど、支援体制の構築を図ります。	エリマネ団体 事業者						Ⓖ外国人の相談窓口の設置	・多様な言語、媒体による生活情報の提供 ・地域での日本語教室の開催 ・子ども食堂やフードバンクの開催	・外国人の子育てサロンや生活支援 ・日本語教室や交流イベントの開催 ・グローバルリーダーの発掘
③住民バスプロジェクト	既存交通と連携し、住民バスのサービス向上を図りながら、高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段の確保を図ります。	市 運行協議会	住民バス 運行再開	Ⓙ運営体制の構築		Ⓙ自家用有償旅客運送への移行	・運行協議会による運営 ・運転手等の担い手の確保 ・利用者ニーズに応じた運行内容の改善(停留所、乗り継ぎ等)	・運転手の充実、運行の維持 ・必要に応じたルートの見直し ・自家用有償旅客運送への移行検討		
④空き家利活用プロジェクト	空き家となった戸建て住宅のリノベーションなどを行い、居住環境の更新を図ります。	市・自治会 所有者 事業者				Ⓚ空き家実態調査	・地域住民による空き家の等の実態調査 ・空き家情報の発信や空き家見学会の実施 ・民間活力や大学との連携による空き家リノベーションの提案	・空き家等の管理体制の構築 ・空き家を活用した学生シェアハウスの検討		
⑤県営住宅更新プロジェクト	共同住宅の戸数の見直しを図り、土地や建物を有効に活用します。	県 事業者				Ⓛ民間活力の導入を含めた計画的な県営住宅の建替、改善	・中層住棟を高層集約化し、駐車場を整備するなど住環境を整備 ・余剰地の有効活用	・県営住宅の建替計画について情報の共有		

再生計画のプロジェクト進捗予定 ～ 再生に向けた中・長期計画の取り組み予定 ～

基本方針	取組方針	主体	短期	中期 (令和4年度～令和7年度)	長期 (令和8年度～令和10年度)	～	令和5年度の実施内容(予定)
①センター地区を活用した交流拠点づくり	高層住宅や県営住宅の居住機能や商業機能の再配置を検討し、センター機能の強化やアクセスの改善を図ります。	公社 市 再生協議会	② センター機能の強化やアクセスの改善 現況調査、課題整理	民間活力の導入検討	取組みの実施	...	・センター機能の強化に向け、公社や商店街事業者と連携を図り、課題を抽出・整理します。
②安全・安心に暮らせる環境づくり	1 道路や宅地の状況を考慮し、外周道路や主要道路における駐車環境の改善を図ります。	公社・市 再生協議会 事業者(県)	③ 駐車環境の改善 現況調査、課題整理	改善策の検討	改善の実施	...	・不足している駐車場の確保等改善に向け、現況調査、改善策の検討を行います。
	2 誰もが安全に移動できるよう、回廊式の歩道橋などの整備・修繕を進めます。	市 再生協議会	④ 回廊式の歩道橋などの整備・修繕 現況調査、課題整理	整備・修繕手法の検討	整備・修繕の実施	...	・地域住民や学生と連携し、センター地区へのアクセスを確保するため歩道橋などの現況調査を行います。
	3 夜間における歩行者の安全確保や地域の防犯性向上を図るため、防犯灯などの施設整備を進めます。	市 自治会 再生協議会	⑤ 防犯灯などの施設整備 現況調査、課題整理	整備手法の検討	整備の実施	...	・自治会や商店街と連携し、防犯灯の現況調査や危険個所の抽出を行います。
	4 緑豊かな環境を維持するため、緑地の適正な保全・活用や、良好な景観づくりを推進します。	市 エリマネ団体 自治会 再生協議会	⑥ 緑地などの環境整備活用・景観形成 現況調査、課題整理	取組みの検討	取組みの実施	...	・良好な景観づくり推進に向け、エリマネ団体や自治会と連携し、草刈りや花の植栽等の環境整備を進めます。
③若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり	子どもが安心してのびのびと学び、遊ぶことができるよう、都市施設の再整備を進めます。	市 再生協議会  事業者(県) 公社	⑦ 小中一貫教育 課題整理	取組みの実施	⑧ 適正配置 現況調査、課題整理	...	・子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を実現するため、公立学校の適正規模・適正配置を進めます。 ・都市施設の再整備や公営住宅の建替えなどに際して関係部局と課題や情報を共有します。
④高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	基幹バスやタクシーなどの利便性向上を図るため、住民・交通事業者・行政が三位一体となり公共交通の維持・活性化を図ります。	市・再生協議会 交通事業者 運行協議会	⑨ 公共交通の維持・活性化 課題整理	改善策の検討・実施		...	・住民・交通事業者・行政が協力して公共交通の維持・活性化に向けた課題を整理します。
⑤多文化共生の地域づくり	外国人居住者などとの多文化共生を推進するため、グローバルリーダーの発掘と育成を進めます。	エリマネ団体 自治会	⑩ グローバルリーダーの発掘と育成 課題整理	取組みの実施		...	・地域で行われている多文化共生の取り組みなどの現状を確認し、キーパーソンを見つけます。



## 菱野団地再生計画の目標達成状況

再生に向けた取組の推進により達成を図る目標を以下に示します。

### (1) 成果指標と目標値

指標番号	分野	成果指標	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
①	人口	総人口	13,113人 (平成27年)	<b>10,804人</b>	12,834人	居住の循環を図る施策を講じ、急激な人口減少に歯止めをかけ、第6次瀬戸市総合計画で目標としている将来人口と同様の推移を目指す。
		40歳未満人口の割合	33.5% (平成27年)	<b>26.1%</b>	33.5%以上	若い世代の流入を図る施策を講じて、人口構成の世代間バランスをとり、現状値以上を目指す。
③	住宅流通	戸建住宅の空き家率	2.6% (平成27年度)	<b>0.91% (R2年度)</b>	2.6%以下	戸建空き家の流通促進により、現状値以下を目指す。
④	交通	公共交通の人口カバー率	100% (平成30年度)	<b>100%</b>	100%	現状の人口カバー率の維持を目指す。
⑤	情報発信	ホームページへのアクセス件数	2,031件 (平成29年)	市HP 2,907件 菱野団地HP 20,937件 (令和4年)	10,000件以上	専用SNSの作成等により、現状のホームページアクセス数の約5倍の件数を目指す。
⑥	住みやすさ	菱野団地に対する満足度	3.07ポイント (平成29年度)	(参考値) 満足している人の割合 現代美術展※1 66.96% 夏まつり※2 80.95%	3.07ポイント以上	菱野団地にお住まいの方へのアンケートにおける菱野団地に対する18項目の満足度の平均値について、現状の満足度以上を目指す。
⑦	定住意向	居留意向	56.8% (平成29年度)	(参考値) 現代美術展※1 93.16% 夏まつり※2 90.0%	81.7%	菱野団地にお住まいの方へのアンケートにおける居留意向について、第6次瀬戸市総合計画で目標としている指標値を目指す。

※1 現代美術展の際に団地内の居住者に観覧券と引き換えにアンケートを取ったもの(117人)

※2 夏まつりの際に来場者にアンケートを取ったもの(54人)

### (2) R4年度の実績値

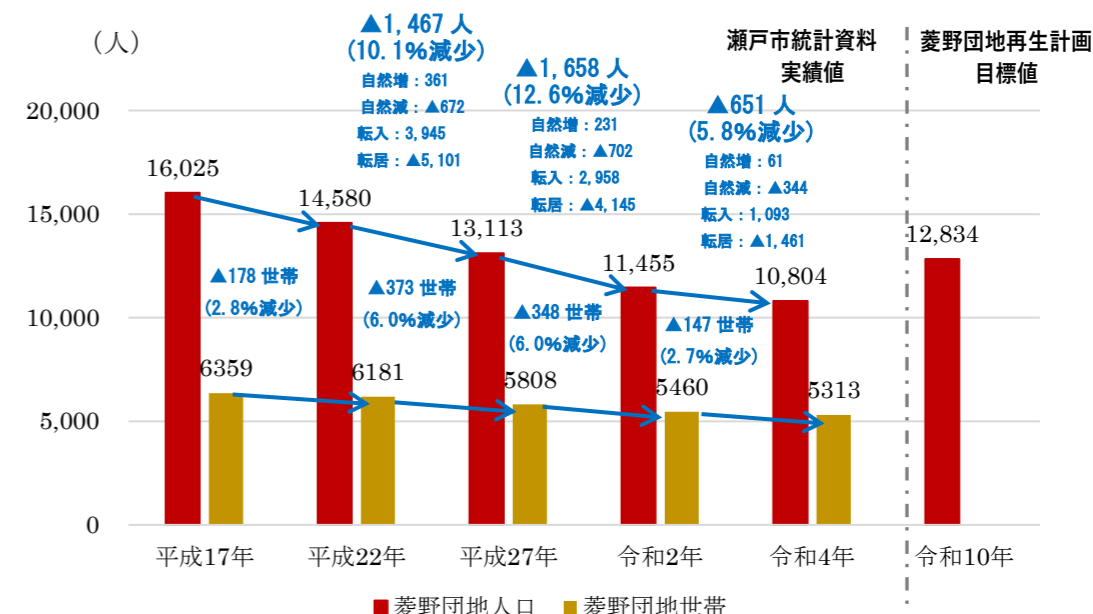
#### ① 総人口・世帯数推移

総人口	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和4年
瀬戸市(全体)	132,517人	133,450人	130,883人	129,131人	128,343人
菱野団地	16,025人	14,580人	13,113人	11,455人	10,804人

世帯数	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和4年
瀬戸市(全体)	50,315世帯	53,186世帯	54,040世帯	56,834世帯	57,744世帯
菱野団地	6,359世帯	6,181世帯	5,808世帯	5,460世帯	5,313世帯

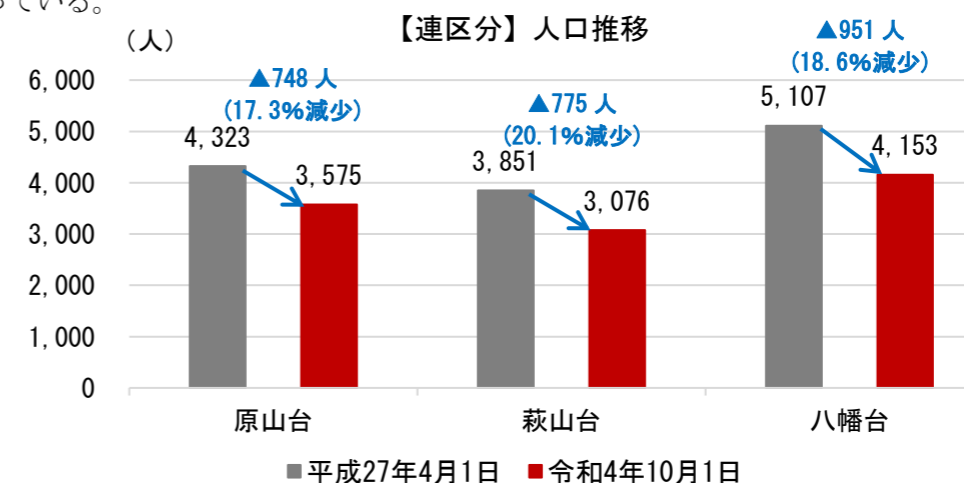
※各年10月1日住基台帳

菱野団地の総人口は、令和2年から令和4年にかけて651人(5.6%)減少している。また、世帯数についても令和2年から令和4年にかけて147世帯(2.7%)減少している。



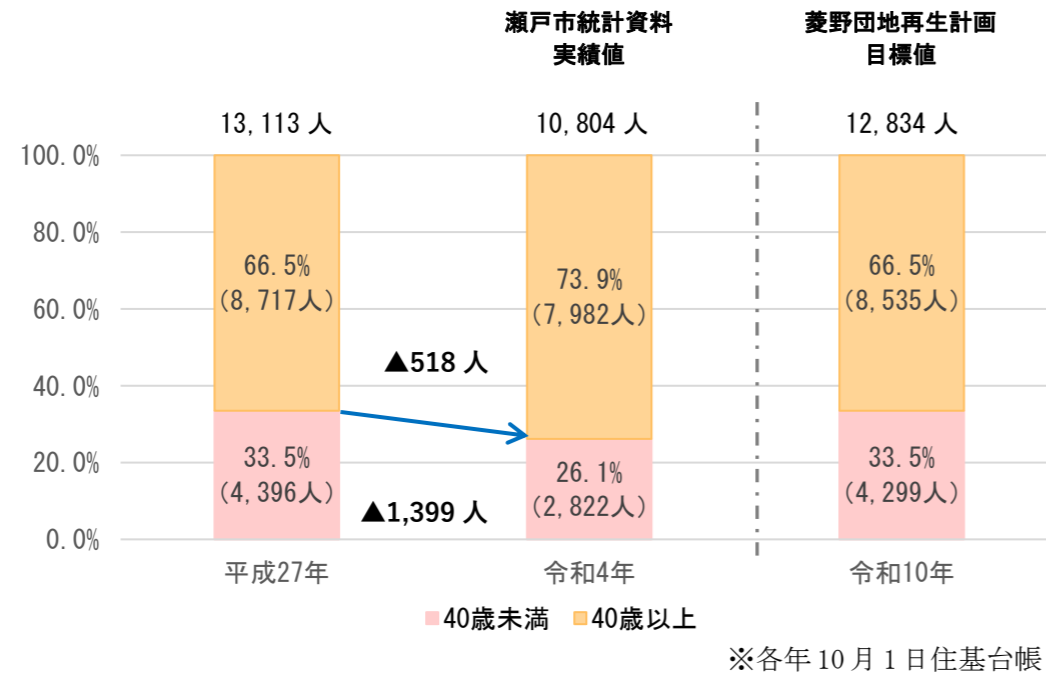
※各年10月1日住基台帳

連区分別の人口推移を見ると、減少数は八幡台が951人と最も多く、減少率は萩山台が20.1%と最も高くなっている。

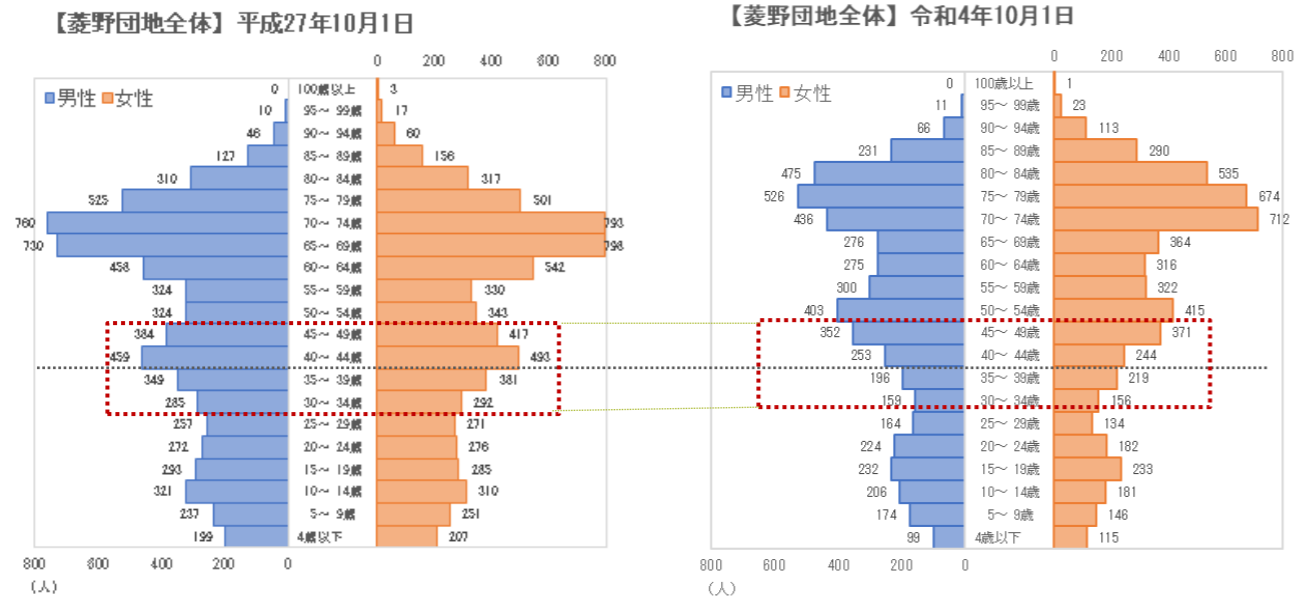


② 40歳未満人口の割合

総人口に占める40歳未満人口の割合は、平成27年から令和4年にかけて6.7%減少している。

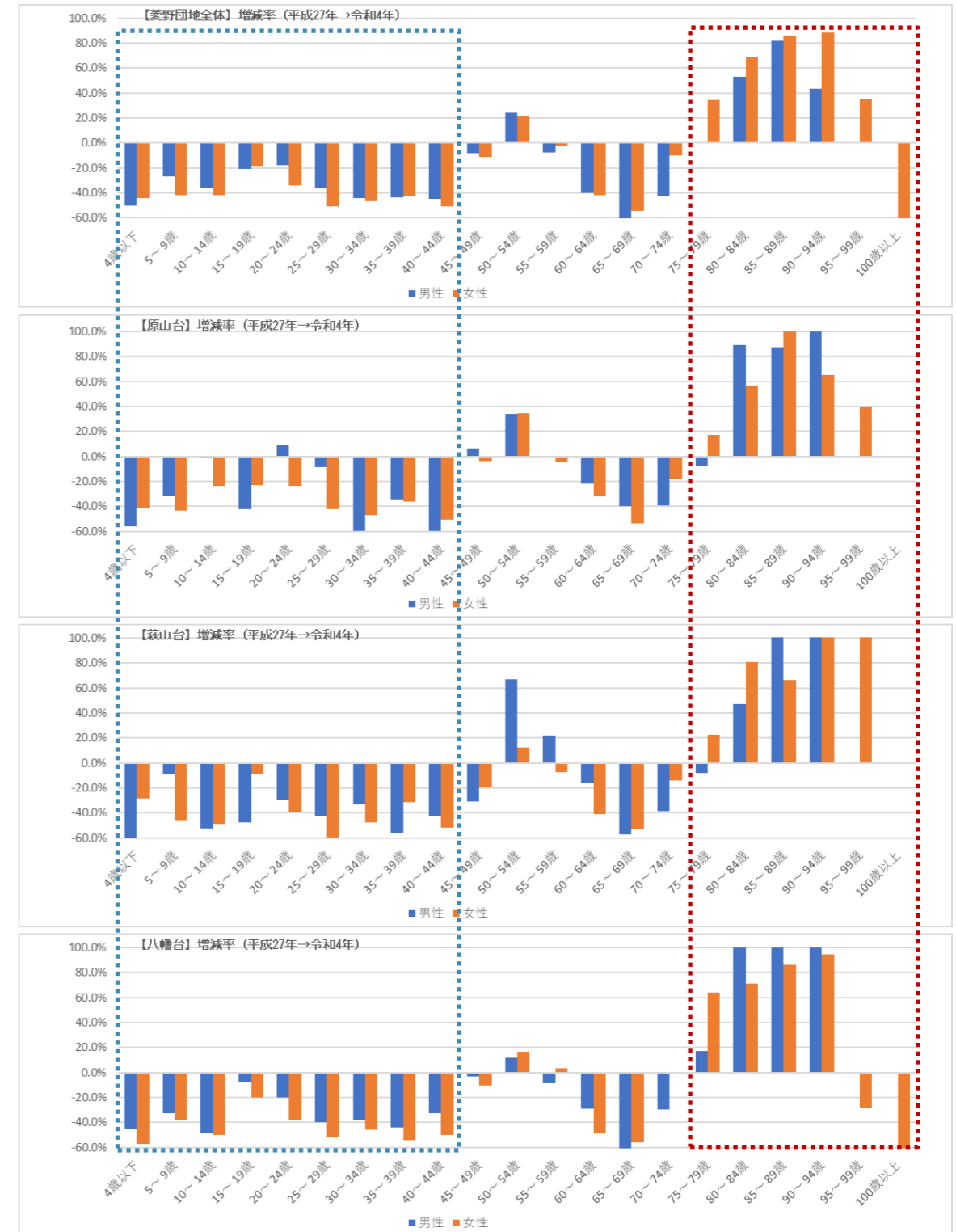


【菱野団地全体】性別・年齢別人口構成



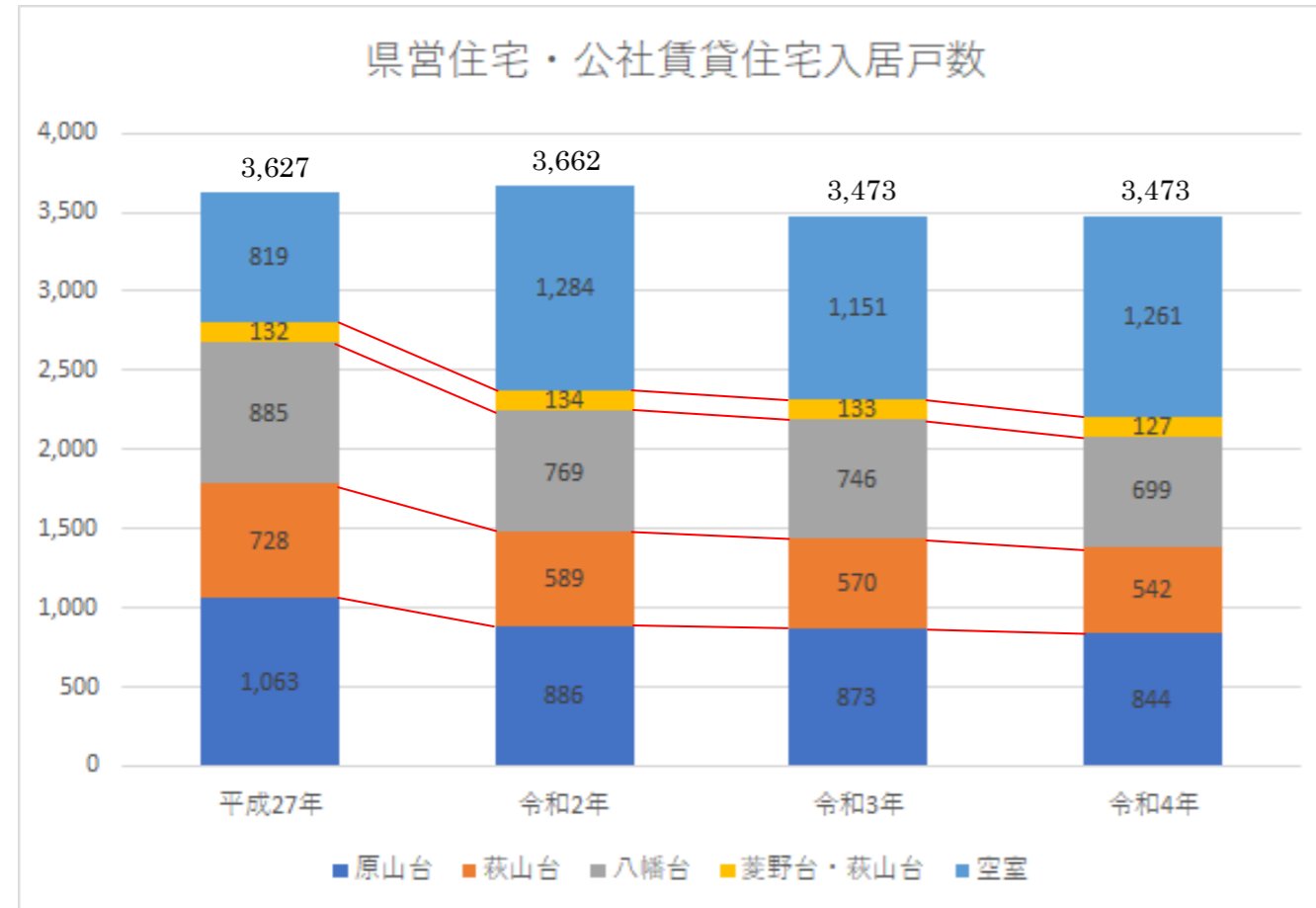
⇒整備から概ね50年となる菱野団地は、整備後の転入者やその子供世代となる年齢層の住民が団塊世代及び団塊ジュニア世代と重なり、割的に多く居住している。そのため、整備後から継続して居住している住民をはじめ全体的に高齢化が進み、10代以下の子供世代の増加がみられないことから少子高齢化の人口構成が年々顕著となっている。

性別・年齢別人口増減率



⇒全ての連区において、45歳未満の人口が減少している。一方、75～90歳は大きく増加しており、高齢化がより一層進んでいる。

③ 県営住宅及び公社賃貸住宅の管理戸数、入居戸数、空き戸数  
 < 県営住宅 >



※各年12月時点 県営住宅：原山台・萩山台・八幡台 公社賃貸住宅：菱野台・萩山台  
 管理戸数には一部募集停止中も含む。

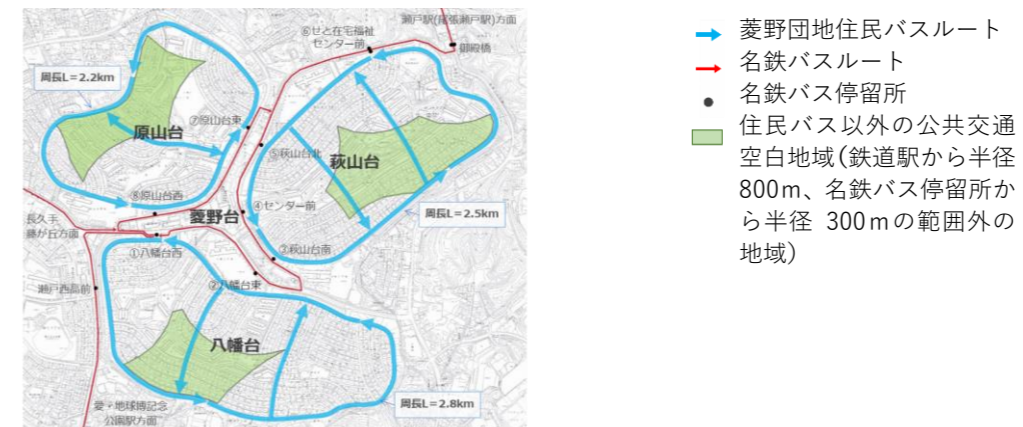
④ 戸建住宅の空き家率（令和2年）

連区	調査結果			空き家率の 目標値 (令和10年)
	空き家と思われる 調査対象建物※1	調査対象建物※2	対象建物に対する 空き家と思われ る建物の割合	
原山台	20	1,679	1.19%	—
萩山台	12	1,574	0.76%	
八幡台	16	2,047	0.78%	
合計	48	5,300	0.91%	

※1 現地調査の結果、以下の条件に当てはまるものを抽出しています。  
 ・郵便受けにチラシやDMが大量に詰まっている ・窓ガラスが割れたままになっている  
 ・カーテン、家具等がない ・門から玄関まで草木が繁茂し出入りしている様子がない  
 ・売り物件等の表示がある ・その他明らかに空家等と思われる状態のもの  
 ※2 令和2年12月8日時点の住民基本台帳より算出

⑤ 公共交通の人口カバー率

菱野団地住民バスの運行継続により、公共交通の人口カバー率100%を維持している。



住民バスの利用者数は、下記のとおりコロナ禍においても増加しており、団地内の生活交通としての役割を担っている。

通常運行便の集計	平成30年 8月～12月	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
利用者数	5,472人	17,341人	16,942人	21,012人	19,925人
運行便数	960便	2,440便	2,240便	2,430便	2,410便
1便当たりの利用者数	5.70人	7.11人	7.56人	8.65人	8.26人

⑥ ホームページへのアクセス件数等

菱野団地ホームページのアクセス件数は、令和元年9月下旬の開設から令和2年12月にかけての2,430件から年々増加し、令和4年1月から12月にかけては21,521件と増加しており、みんなの会等の認知度が上がったことや関心が高まっていることがわかる。

媒体	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和10年
市ホームページ	3,407件	5,993件	3,140件	3,619件	2,907件	10,000件以上
菱野団地ホームページ	-	2,430件	10,189件	20,937件	21,521件	
計	3,407件	8,423件	13,329件	24,556件	24,428件	

・市HP ページ別閲覧数

ホームページ名	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
「菱野団地あらたなまちづくり」	2,031	1,866	665	660	757
『菱野団地 新しい「住民バス」』	1,376	1,683	1,143	739	566
「未来の菱野団地をみんなでつくる会」	-	122	187	392	253
「菱野団地再生計画を策定しました」	-	2,273	1,124	766	622
『菱野団地 「かわら版」』	-	49	21	58	97
「菱野団地再生計画推進協議会」	-	-	-	1,004	612
計	3,407	5,993	3,140	3,619	2,907



# 菱野団地再生のあゆみと再生の理念

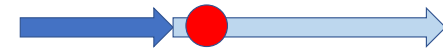
南山大学 石川良文

## 菱野団地再生のあゆみ

- 2016年8月 原山台地域力向上委員会主催講演会  
「住民主体のまちづくり-国内外の事例から団地再生を考える-」
- 2017年3月 瀬戸市第6次総合計画「居住の好循環をもたらす施策」
- 2017年7月 菱野団地「住民バス」社会実験（7月～12月）
- 2017年11月 **菱野団地再生計画策定検討委員会 設置** ★菱野団地再生の機運から6年
- 2018年8月～ 菱野団地「住民バス」運行本格開始 ★再生計画策定から4年(5年目)  
(協議会設置)
- 2019年3月 **菱野団地再生計画 策定**
- 2019年4月 未来の菱野団地をみんなでつくる会 設立
- 2019年5月 菱野団地再生計画推進協議会 設置

## 菱野団地再生計画（2019年3月策定）

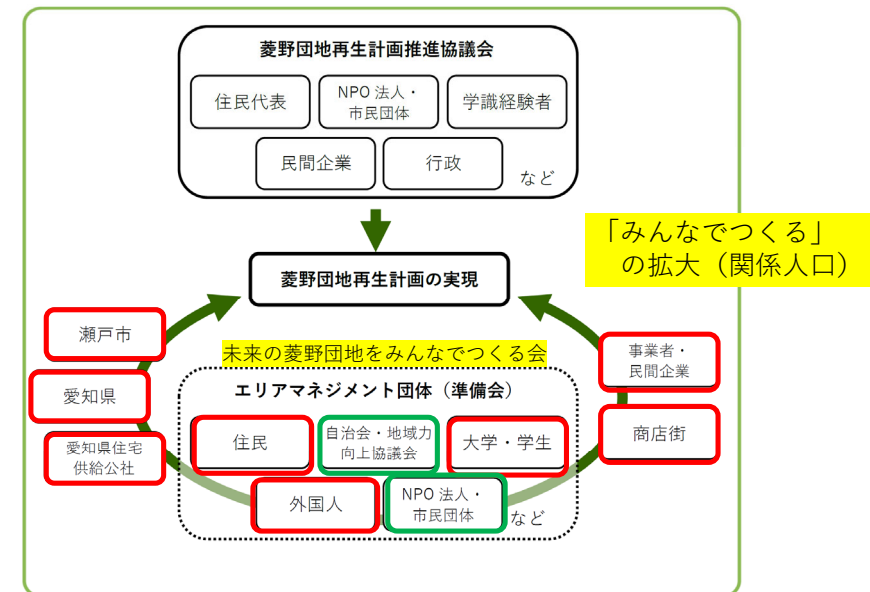
○計画期間  
10年（2019年度～2028年度）



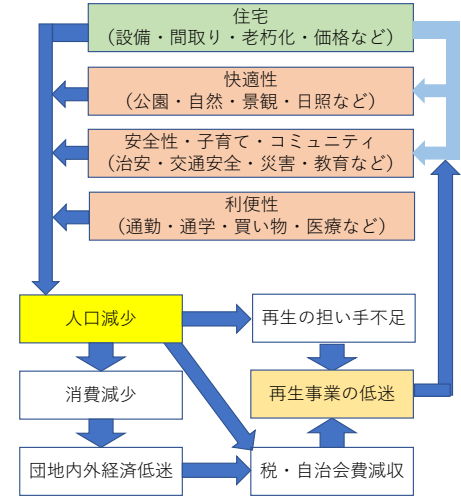
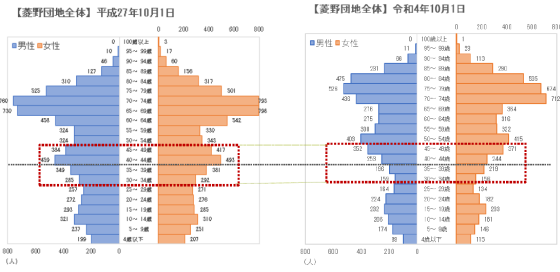
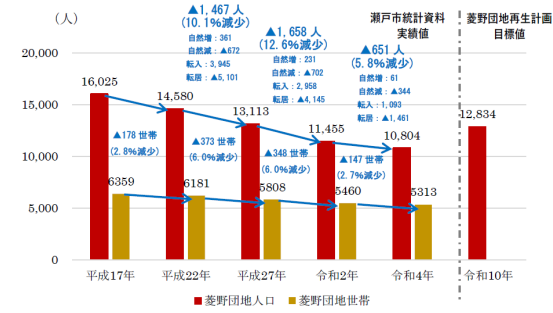
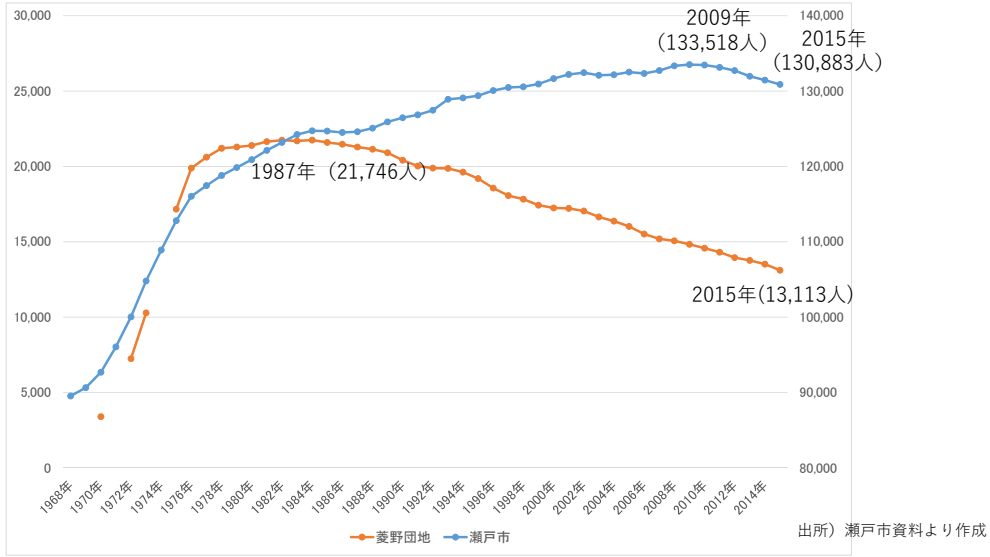
先行プロジェクト  
(2019-2021)      中・長期計画  
(2022～2028)

○再生の理念  
「**みんなでつくる**、住みよいまち菱野団地」

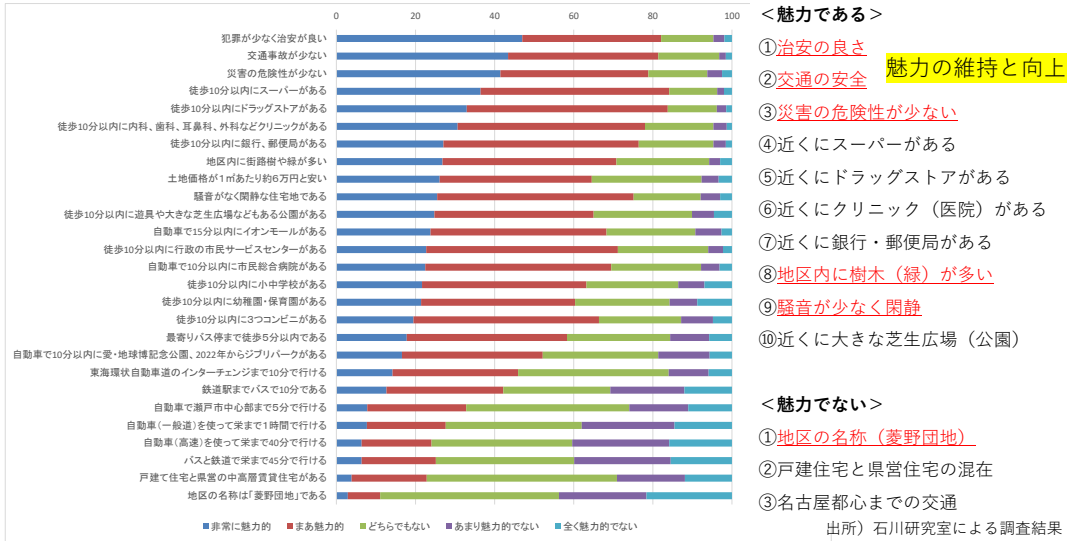
- 再生の基本方針と20の取組方針
- ①**センター地区**を活用した交流拠点づくり
  - ②安全・安心に暮らせる環境づくり
  - ③若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり
  - ④高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり
  - ⑤多文化共生の地域づくり



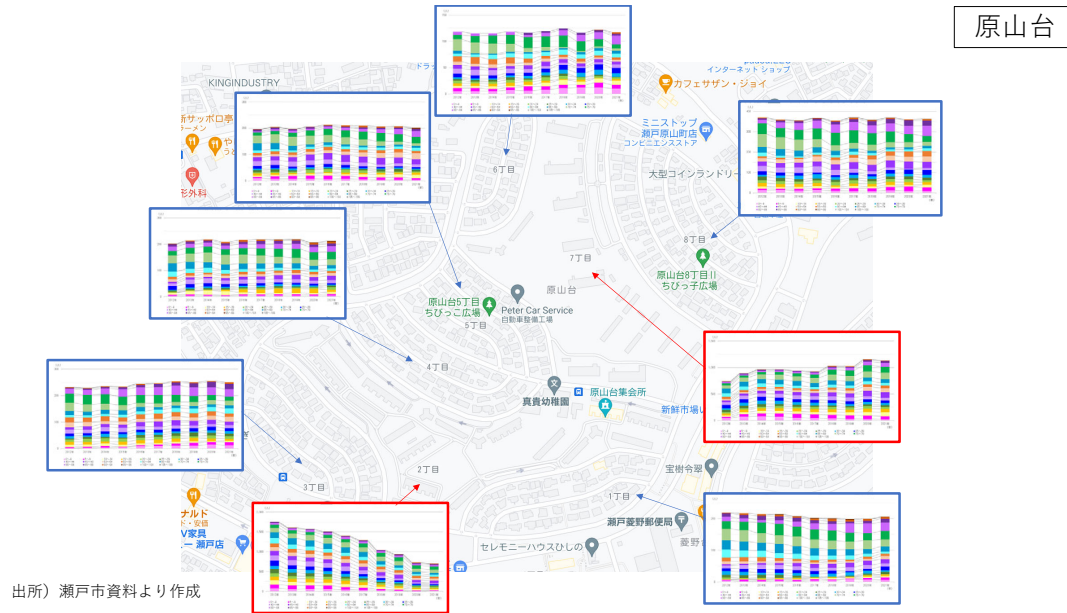
# 菱野団地と瀬戸市の人口推移 一団地再生の担い手の持続可能性一



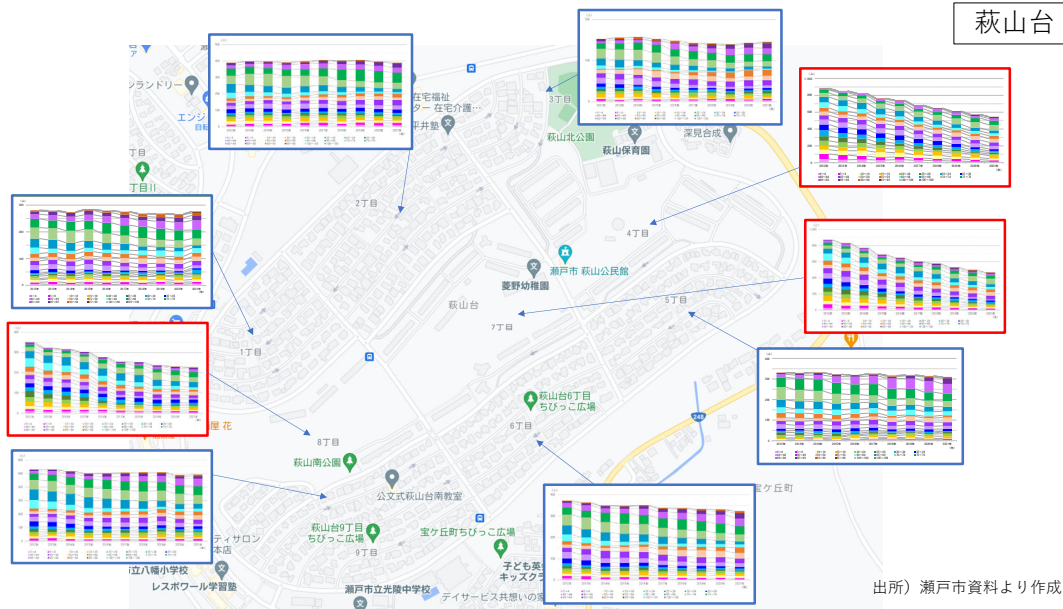
## 若い市外在住者から見た菱野団地の魅力要素の評価



## 原山台

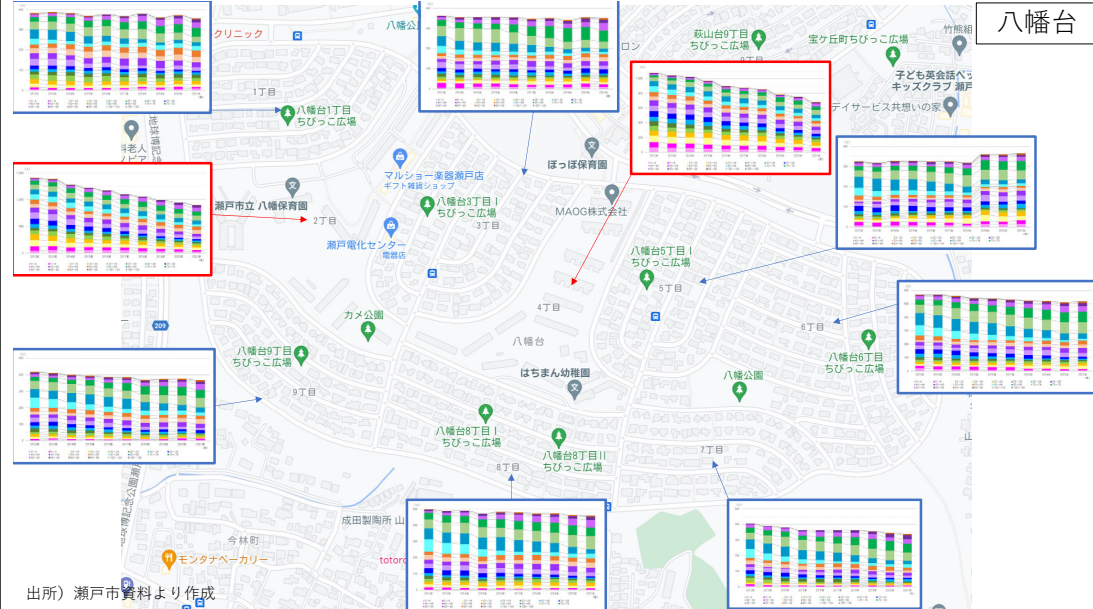


### 萩山台



出所) 瀬戸市資料より作成

### 八幡台



出所) 瀬戸市資料より作成



出所) 瀬戸市資料より作成

### 団地内地区別人口

2015年10月1日現在の人口

	人口	(戸建住宅)	(共同住宅)	世帯数	世帯当たり人数
原山台	3,818	1,349	2,469	1,716	2.2人
菱野台	523	0	523	229	2.3人
萩山台	3,757	2,002	1,755	1,713	2.2人
八幡台	5,015	2,828	2,187	2,150	2.3人
菱野団地合計	13,113	6,179	6,934	5,808	2.4人

出所) 国勢調査結果より作成

<参考>1982年の世帯当たり人数：原山台3.4人、萩山台3.6人、八幡台3.5人



## 黒川紀章による設計

### < 開発コンセプト >

#### ○良い環境

- ・住宅の日照条件を良くする
- ・通過交通のない道路計画
- ・変化のある住宅配置と静かな空間の構成
- ・各住区の中央部にある自然を極力保存

#### ○交通安全

- ・交通量の大幅減少
- ・交差点は全て優先順位が明確にされたT差路

#### ○便利な生活

- ・ワンセンター方式による合理的配置
- ・安全な教育施設配置



## 菱野団地整備の理念 - これからの50年を見据えて -

### ◆50年前の黒川紀章による開発コンセプト（菱野団地、湘南ライフタウン）

- 「共生」都市と自然、機械と人間、
- 「自然の楽園と人工の楽園の一体化」
- 「メタボリズム」閉じた機械ではなく新陳代謝を通じて成長する有機体

### ◆これから50年の再生の理念は？ - 持続可能な団地として -

- ・共生の概念の継承（自然との共生、社会の共生）
- ・サーバントスペースの活用（学校統廃合）
- ・住環境の保全と改善
- ・パラダイムシフトに応じた次世代団地（健康社会、デジタル社会に対応）

## 研究報告

-中央広場整備アンケートと小学校統廃合に関する研究-

名城大学 教授 鈴木温  
担当学生 原田竜作・植田錬

## 菱野団地中央広場について



- 菱野団地中央に位置
- 商店街、銀行、郵便局



大型スーパーの撤退やシャッター街化による賑わいの喪失、利便性低下



### 再生の取り組み

- 空き店舗をみんなの会の活動拠点にイベント開催
- 2022年度から中央広場のリノベーションを検討開始

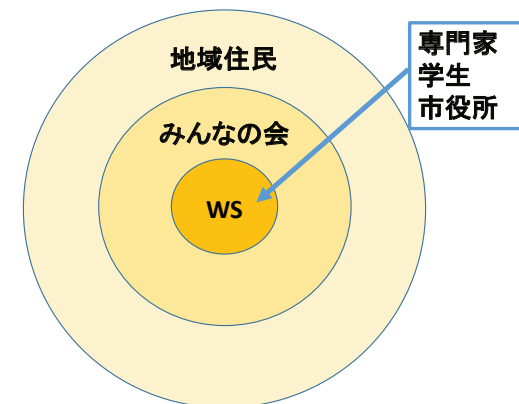
## 研究の目的

- ① 地域住民と複数の大学が連携したワークショップの実践を通じて、老朽住宅団地の中央広場の再生案を検討
- ② 団地住民の意見を効果的に計画案へ反映する方法を提案、実践
- ③ ①、②の実践を通じ、団地再生における主体間連携と計画案への反映に関する課題を整理し、望ましい方法について提案

## 主体間連携の仕組み

地域住民 : 高齢者が多い  
 専門家 : 建築・土木・地域政策  
 学生 : 若く新しい考え  
 市役所 : 実行性を高める

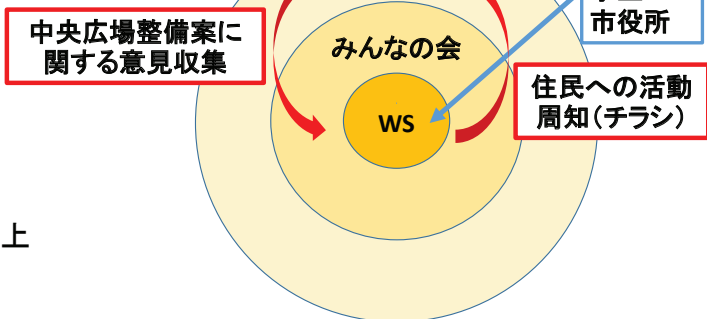
参加大学  
 南山大学 石川研究室  
 愛知工業大学 野澤研究室  
 益尾研究室  
 名城大学 谷田研究室  
 鈴木研究室



# 主体間連携の仕組み

## 再生活動の課題

団地住民への活動周知が不十分  
 団地住民からの意見のフィードバックが必要



## アンケート調査 (紙+Google form)

改良案の実効性・質の向上  
 活動への理解促進

# アンケート調査概要

調査対象	中央広場への来場者, 中央広場周辺に住む地域住民		
調査日	令和4年11月26日		
回答期間	令和4年11月26日~12月19日		
配布数	300票(140票)		
回収数	大人用	子供用	合計
Googleform	22票	6票	28票
紙媒体	75票	24票	99票
合計	97票	30票	127票

※( )内はポスティングした数



配布数内訳

ポスティング	来場者	
原山台	20票	現地聞き込み 160票
菱野台	42票	
八幡台	20票	
萩山台	58票	
合計	140票	合計 160票

複数の大学が連携して団地再生にご協力しています

愛野団地再生ワークショップについて  
 現在、愛野団地では未来の愛野団地をみんなでつくる会(通称:みんなの会)を中心として団地再生が進められています。その取り組みの一環として、南山大学、愛知工業大学、名城大学の教員や学生が、地域住民と連携し、現在、駄菓子屋等に利用されている地域住民の活動拠点である「ひしのミナクル」や中央広場の整備に関するワークショップやDIYを行っています。

大学・学部名	教員・研究家名	主な役割(担当)の概要
南山大学 総合政策学部 総合政策学科	谷田 孝文 教授 研究室	「愛野団地再生計画推進協議会」委員長
愛知工業大学 工学部 建築学科	野澤 克典 准教授 研究室 益尾 幸祐 准教授 研究室	「令和2年度 愛野団地改善案 活用方法提案事業」協力
名城大学 理工学部 建築学科	高田 真 准教授 研究室	2020年度在野ワークショップ コーディネーター
名城大学 理工学部 社会環境デザイン工学科	鈴木 隆 教授 研究室	「愛野団地再生計画推進協議会」委員

愛野団地再生ワークショップ事務局(南山大学) 5-00研究室

令和3年度のワークショップの取り組み  
 昨年度は、地域住民の活動拠点で使用する椅子・机・遊具等の家具をDIYで制作しました。谷田研究室が中心となり提案された「凹凸仕掛け家具」と呼ばれるキュー型のブロックを組み合わせ、どのような家具を作るかについて、3大学の学生や地域住民が6チームに分かれアイデアを出し合い、DIYによってアイデアを形にしました。

- WS1回目 日時: 令和3年10月9日(土) 13時~16時  
 活動内容: 活動拠点内のデザインの提案-DIY制作の検討
- WS2回目 日時: 令和3年10月30日(土) 13時~16時  
 活動内容: DIYによる家具制作
- WS3回目 日時: 令和3年11月20日(土) 13時~16時  
 活動内容: DIYによる家具制作

写真① 仕掛け家具の例(遊べるテーブル・ダンテベンチ) 写真② 家具の制作の様子

令和4年度のワークショップの取り組み  
 今年度は中央広場のリノベーションについて検討してきました。提案されたアイデアは、芝生広場整備、ウッドデッキの整備、日陰空間を作ることなどがあげられます。また、中央広場の清掃活動や草刈りも行いました。

- WS1回目 日時: 令和4年7月14日(木) 10時~16時  
 活動内容: 愛野団地現地見学-グループワーク
- WS2回目 日時: 令和4年8月24日(水) 13時~16時  
 活動内容: 愛野団地中央広場の未来像に関するグループワーク
- WS3回目 日時: 令和4年9月27日(火) 13時~16時  
 活動内容: 中央広場の清掃・草刈り・活動拠点のDIY

写真③ WSの様子 写真④ 清掃の様子 写真⑤ 草刈りの様子

中央広場アンケート調査に関するお願い  
 これまで、上記のようなワークショップを実施し、中央広場のリノベーション等を検討してきましたが、住民の皆様のご意見を聞き取ることができていないことや、これまでの活動の周知が十分でないことが課題として挙げられました。そこで、団地住民の皆様から中央広場の将来像について、皆様の「意見を聞き取らせたい」考えを伺います。アンケートについては別紙に記載されておりますので、そちらをご覧ください。ぜひ、ご協力をよろしくお願い致します。

名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 鈴木研究室  
 教授 鈴木 隆 担当学生 高田唯作(4年)

# アンケート項目 大人用

質問項目	内容
個人属性	性別 年齢 職業
住居	地区 住宅タイプ 所有状況
現在の中央広場	利用頻度 評価(安全性, 快適性, 楽しさ, 清潔さ, 魅力度)
今後の中央広場	求める機能 必要な施設 リノベーション案評価 ①ウッドデッキ②遊具③芝生 ④日陰, 雨宿り
再生活動	活動の評価 参加意欲



イメージ図愛知工業大学野澤・益尾研究室作成

# アンケート項目 子供用

質問項目	内容
個人属性	性別 学年 学校名
住居	地区
現在の中央広場	利用頻度 目的 評価
今後の中央広場	やりたいこと 欲しい施設 リノベーション案価

問4 あなたがかよっている学校(がっこう)をえらんでください。  
 原山(はらやま)小学校  萩山(はぎやま)小学校  八幡(はちまん)小学校  光陵(みつりゅう)中学校  水無瀬(みずなし)中学校  その他の小学校  その他の中学校

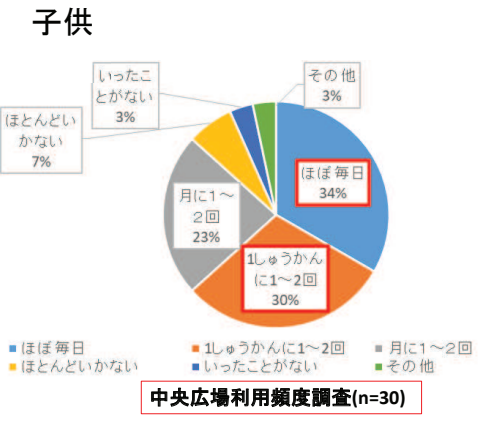
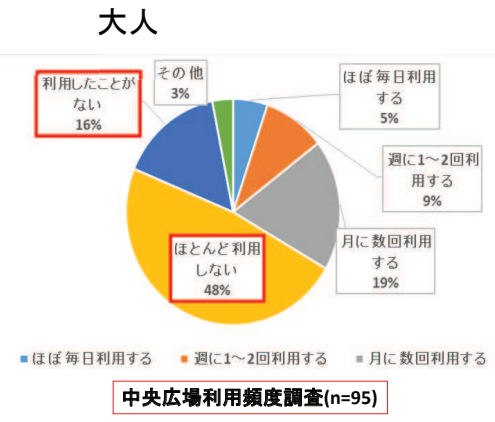
問5 中央広場(ちゅうおうひろば)に行く回数(かいすう)を教えてください。  
 ほぼ毎日  1しゅうかん(1週間)に1~2回  月に1~2回  ほとんどいかない  いったことがない  その他

問6 中央広場に行く目的(もくてき)を教えてください。(いくつでも)  
 ともだちとあそぶ  かぞくとあそぶ  だがしやにいく  ともだちとはなす  しょうてん(しょうてん)がいでかいものをする  ベンキョウ(ベンキョウ)をする  その他

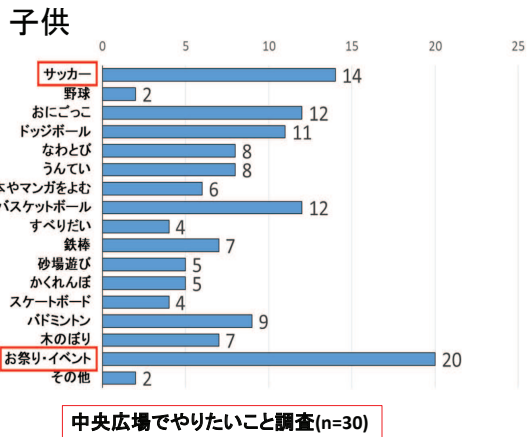
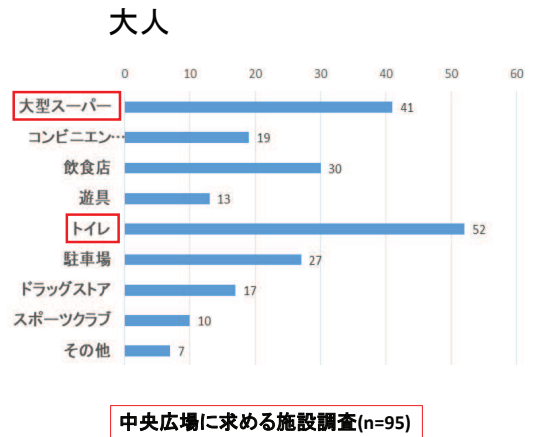
問7 中央広場でやりたいことやできるといいなとおもうことを教えてください。(いくつでも)  
 サッカー  やきゅう  おにごっこ  ドッジボール  なわとび  うんてい  本やマンガをよむ  バスケットボール  すべりだい  てっぽう  すなばあそび  かくれんぼ  スケートボード  バドミントン  木のぼり  その他

※漢字にフリガナ, 簡潔な質問

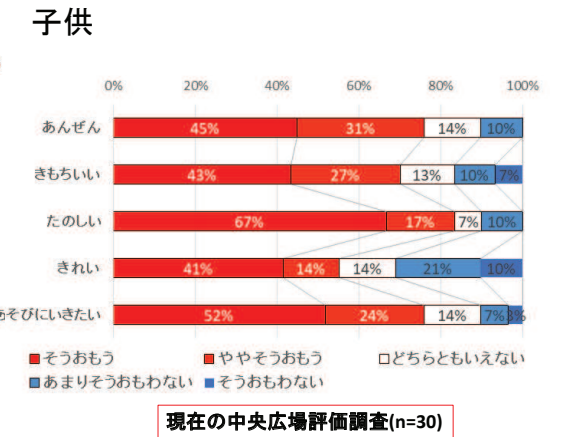
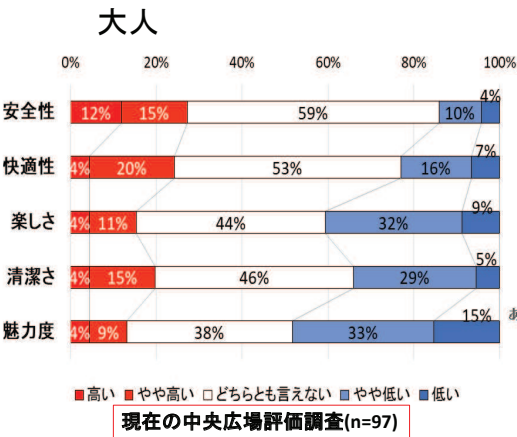
# 利用頻度調査



# 中央広場に求める施設・機能調査



# 現在の中央広場調査

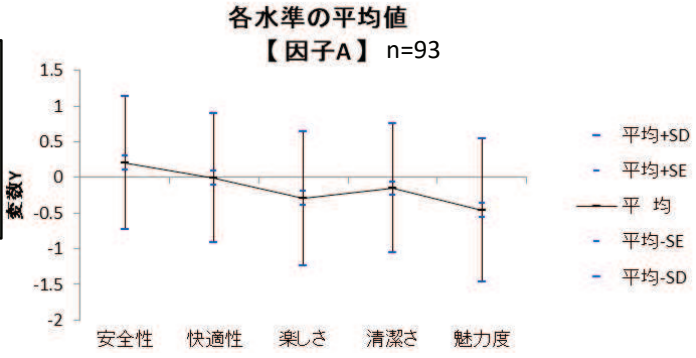


# 現在の中央広場評価(大人) 標準偏差

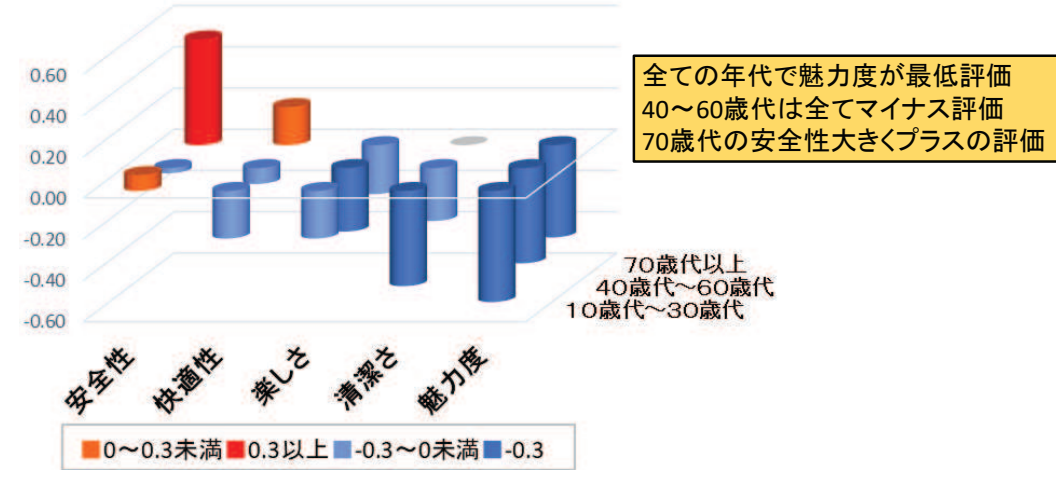
高い 2点  
 やや高い 1点  
 どちらとも言えない 0点  
 やや低い -1点  
 低い -2点



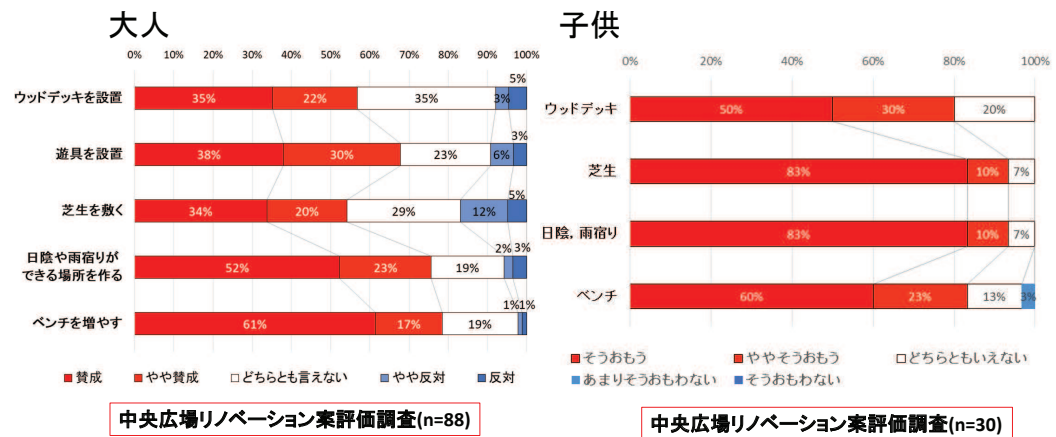
一人当たりの平均点



# 年齢階層別クロス集計(大人用) 中央広場評価



# 中央広場リノベーション案評価調査



# 現在の中央広場評価とリノベーション案評価 相関分析・無相関検定(大人)

相関係数	現在の中央広場評価				
	安全性	快適性	楽しさ	清潔さ	魅力度
ウッドデッキ	0.1528	0.2863**	0.2418*	0.0555	0.1426
遊具	0.0310	0.1217	0.0593	0.0543	-0.0432
芝生	0.1684	0.1324	0.309**	0.0673	0.1326
日陰・雨宿	0.1037	0.2339*	0.2287*	0.1176	0.1111
ベンチ	0.1360	0.1230	0.2517*	0.0834	0.1668

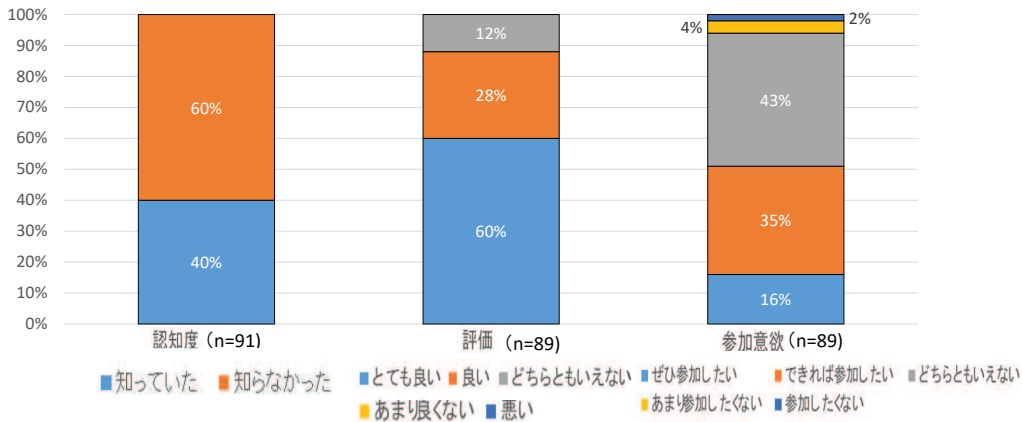
リノベーション案評価

0~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~0.7未満 0.7~0.9未満 母相関係数の無相関の検定 [上三角:P値/下三角:\*,P<0.05 \*\*,P<0.01]

楽しさ評価とリノベーション案評価では関係性あり、特に芝生との相関性が高い  
 快適性評価とウッドデッキ・日陰、雨宿りは相関性が高い



# 主体間連携団地再生活動に対する評価結果



# 中央広場リノベーションの提案

- トイレや駐車場を設置し、**娯楽空間**の滞在時間の増加  
大人の利用頻度を向上
- 中央広場におけるウッドデッキの設置案に合わせ、  
芝生化などの実施、**快適な憩いの場**を提供・イベントの開催
- 大型スーパーなどを中央広場周辺に誘致  
**生活利便性**の向上

# 小学校統廃合の背景

少子化による児童数の減少

毎年450校前後が廃校・統廃合活発化

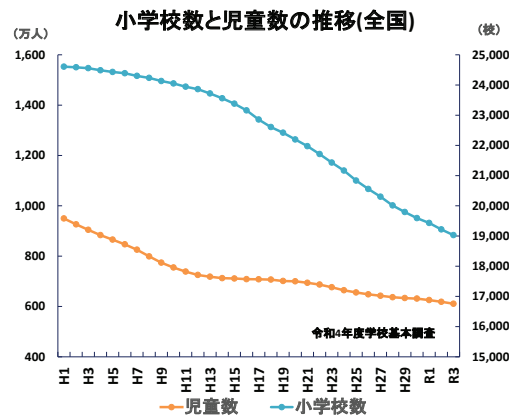
### 正の影響

- ・生産年齢の増加
- ・児童数の増加
- ・地域活性化

### 負の影響

- ・通学時間の増加
- ・人口流出
- ・生活利便性の低下

正と負の面を考慮した中長期的な**地域への影響予測**を行うことが必要



# 対象地域について

対象地域: 愛知県瀬戸市菱野団地

### 菱野団地の現状

開発から約50年経過  
人口減少・少子高齢化  
**地域の衰退**

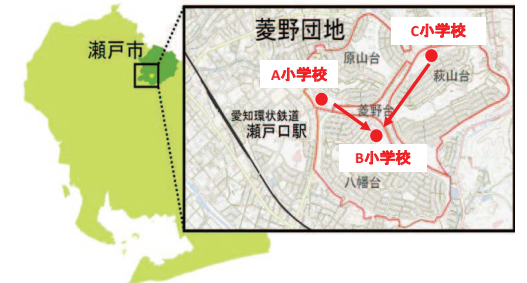
### 小規模校の問題

#### 教育的問題

- ・入学自体避けられる
- ・子供を持つ**世帯の流出**

#### 財政的問題

- ・自治体の財政圧迫



- ・団地内に3つの小学校が存在
- ・2026年A・C小学校がB小学校に統廃合予定

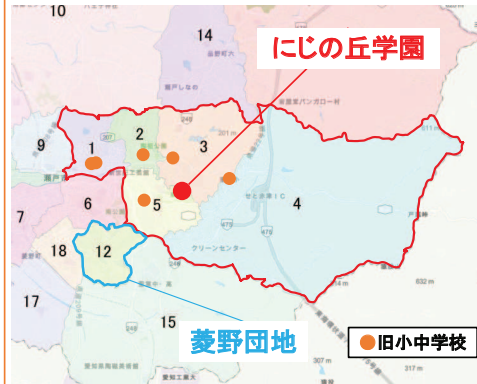
# 統廃合施策の実例

## にじの丘学園について

- ・小学校5校, 中学校2校合併
- ・2020年4月開校の小中一貫校
- ・総工費約60億円
- ・平均1学年学級数: 4クラス

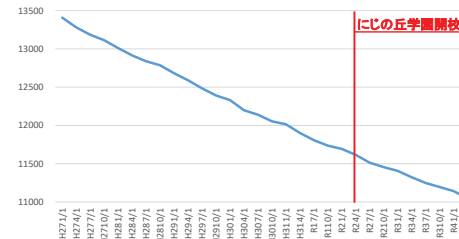


(ushio-pro.com)

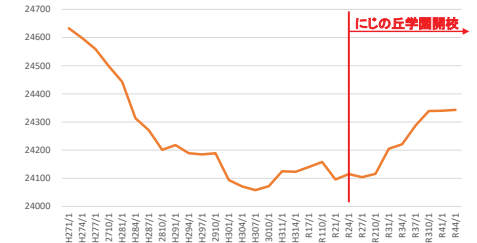


# 統廃合による人口動態への影響分析

菱野団地人口

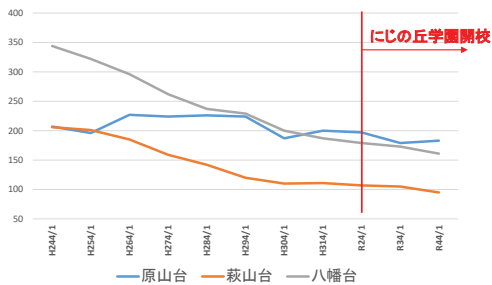


にじの丘学園学区人口



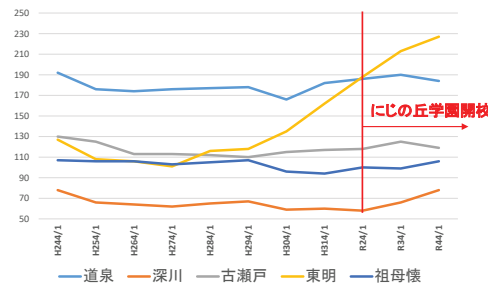
# 統廃合による人口動態への影響分析

菱野団地児童数



・菱野団地では全ての学区で児童数減少

にじの丘学園学区児童数



- ・にじの丘学区では廃校した学区も含めすべての連区で児童数が維持・増加
- ・東明連区では開校前から大幅な増加
- ・東明連区→土地区画整理

# 本研究の目的

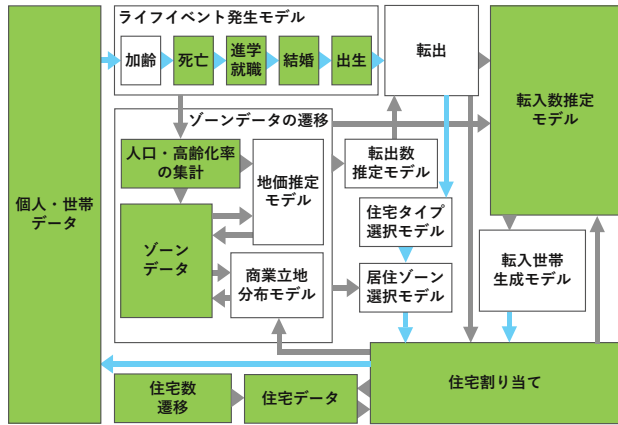
小学校の統廃合が人口動態に及ぼす影響に着目

小学校統廃合を考慮した将来時系列の都市内人口分布の変化を予測可能な世帯マイクロシミュレーションモデルを構築

愛知県瀬戸市の住宅団地を対象に小学校統廃合施策を定量的に評価  
地域の再生につながる最適な施策を提案する

# モデルの基本構造

世帯マイクロシミュレーション(House-hold based Urban Micro Simulation,HUMS)について



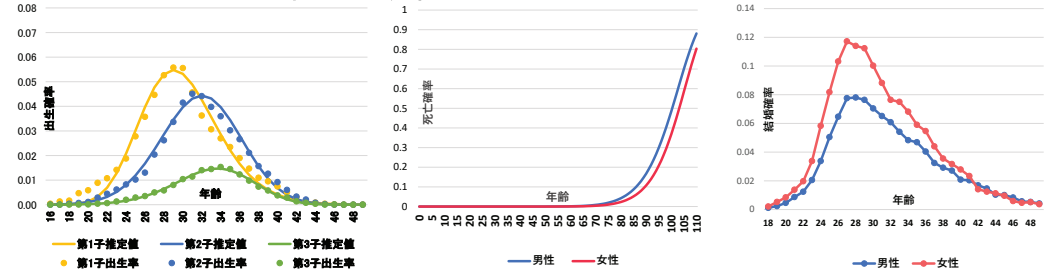
世帯構造の遷移を個人レベルで把握可能

小学校統廃合による世帯動態への影響を予測  
施策を定量的に評価可能

平沼らの既存研究をベースに  
転入数推定モデル等を改良  
2020年版に更新

# モデルの改良内容(ライフイベント)

全てのモデルを2020年データに更新  
最小二乗法によりパラメータ推定 出生率:一般化対数ガンマ分布  
死亡率:ワイブル分布



$$g_n(x) = \frac{c_n |z|}{b_n \Gamma(\lambda_n^2)} (\lambda_n^{-2})^{z^2} \exp \left[ \lambda_n^{-1} \left( \frac{z - u_n}{b_n} \right) - \lambda_n^{-2} \exp \left( \lambda_n \left( \frac{z - u_n}{b_n} \right) \right) \right]$$

$g_n(x)$ : x歳の女性の第n子の出生確率  
 $\Gamma(\cdot)$ : ガンマ分布  
 $c_n, u_n, b_n, \lambda_n$ : パラメータ

$$S(t) = \exp \left[ - \left( \frac{t}{\beta} \right)^\alpha \right] \quad (t \geq 0)$$

t: 年齢  $\alpha, \beta$ : パラメータ

$$p_n(x) = \frac{N_x}{N_{(n-1)x}} g_n(x)$$

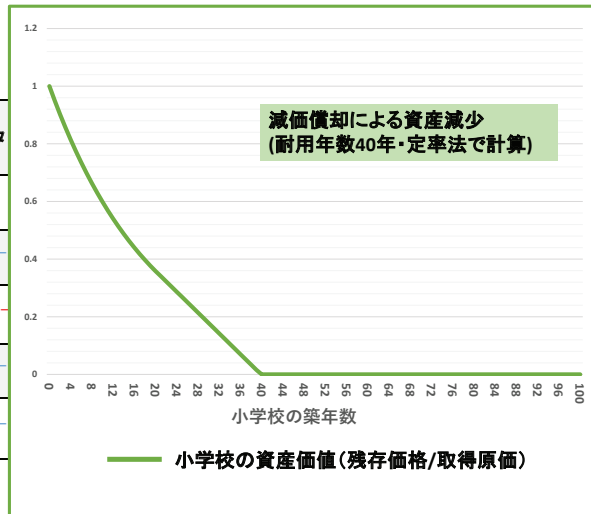
$p_n(x)$ : x歳の女性の第n子の修正後出生確率  
 $g_n(x)$ : x歳の女性の第n子の修正前出生確率  
 $N_x$ : x歳の総女性数  
 $N_{(n-1)x}$ : x歳の既婚かつ子どもの人数n-1の女性数

# 転入数推定モデルの構築

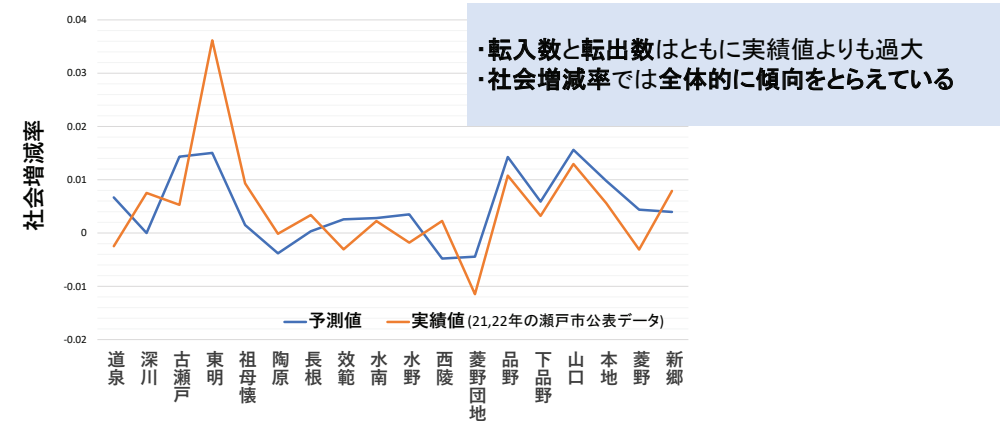
パラメータ推定結果

線形の重回帰モデル(目的変数: 転入数/人口)

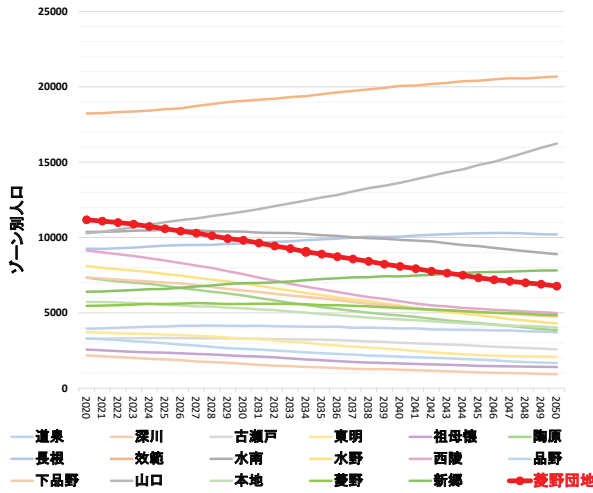
説明変数	パラメータ
転出数/人口	0.892
住宅供給数	$0.266 \times 10^{-7}$
大型商業施設延床面積(ha)	$-0.105 \times 10^{-7}$
小学校の学級数	$0.334 \times 10^{-7}$
小学校の新しさ	$0.605 \times 10^{-7}$



# モデルの精度検証

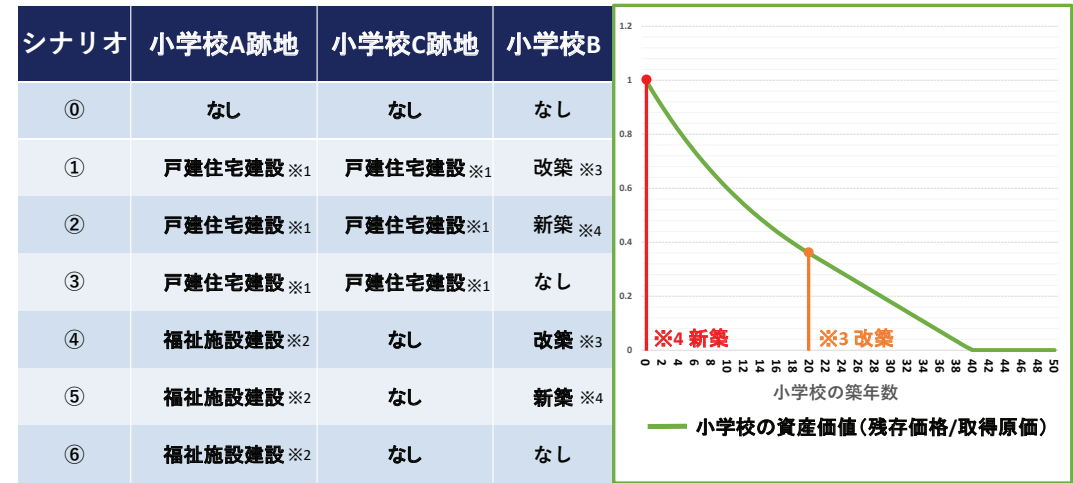


# HUMSの計算結果(現状のまま推移した場合)



**人口の予測結果**  
 ・瀬戸市全体では減少傾向  
 ・菱野団地でも強い減少傾向  
 ・中心部では人口増

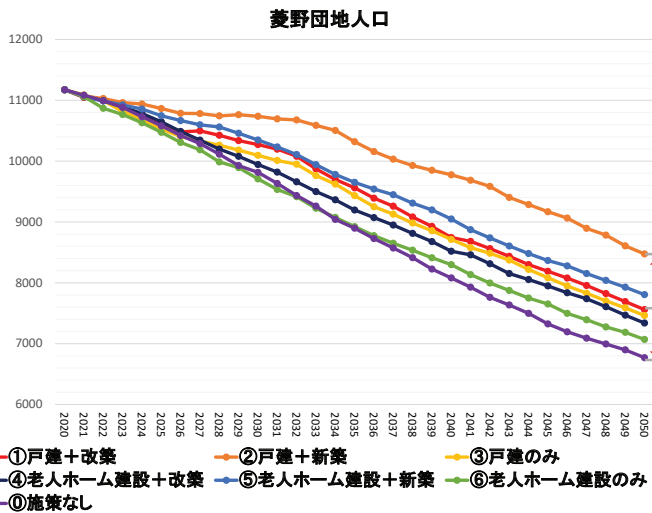
# モデルのシナリオ(小学校統廃合施策)



※1 小学校跡地に戸建住宅を約250戸建設する施策

※2 高齢者向け介護福祉施設

# HUMSの計算結果(シナリオ別)

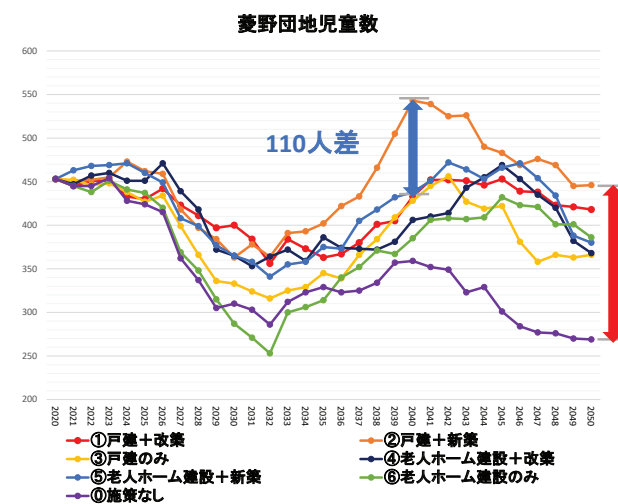


総合的に見た施策効果降順

- ②戸建+新築
- ⑤老人ホーム建設+新築
- ①戸建+改築
- ③戸建のみ
- ④老人ホーム建設+改築
- ⑥老人ホーム建設のみ
- ⑩施策なし

800人差  
1800人差

# HUMSの計算結果(シナリオ別)

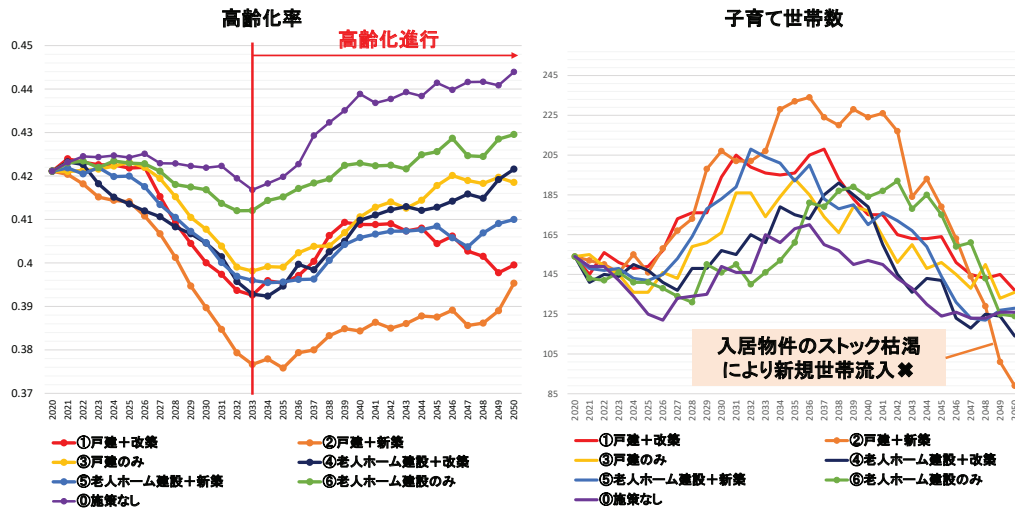


総合的に見た施策効果降順

- ②戸建+新築
- ⑤老人ホーム建設+新築
- ①戸建+改築
- ④老人ホーム建設+改築
- ③戸建のみ
- ⑥老人ホーム建設のみ
- ⑩施策なし

110人差  
180人差

# HUMSの計算結果(シナリオ別)



# これまでの成果と今後の課題

## これまでの成果

- ・世帯マイクロシミュレーション(HUMS)の基本設計・構築
- ・小学校統廃合施策のシナリオ別比較・評価

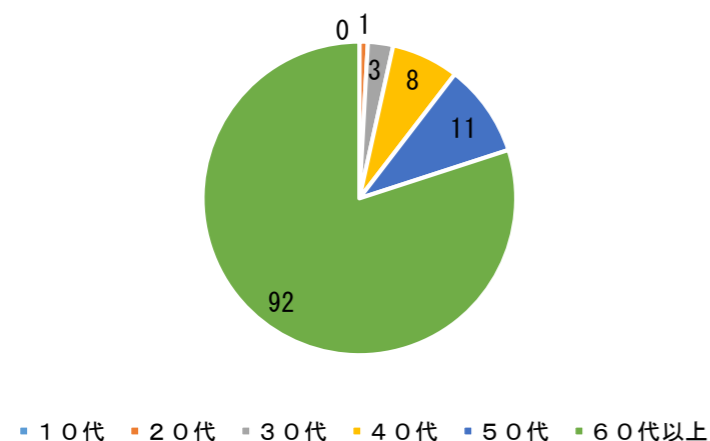
## 小学校統廃合施策のシナリオ別比較結果

- ⇒ **小学校新築施策と戸建住宅建設施策**を組み合わせると効果大
- ・2施策を組み合わせることで相乗効果か
- ・2050年時点の**⑦施策なし**と比較 人口:**1700人差** 児童数**180人差**
- ・改築施策+戸建住宅建設施策で新築同様の施策効果
- ・施策効果は一時的(~10年)なことが考えられる
- ⇒ 継続的に団地再生施策を行っていく必要がある(主に住宅関連施策)

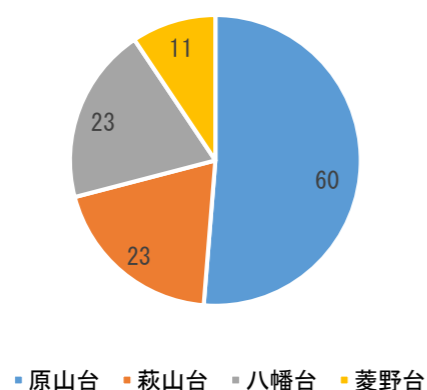
## 今後の課題

- ・転出モデル, 転入モデル, 出生イベントの精度向上
- ・持続的な効果をもたらす団地再生施策の模索

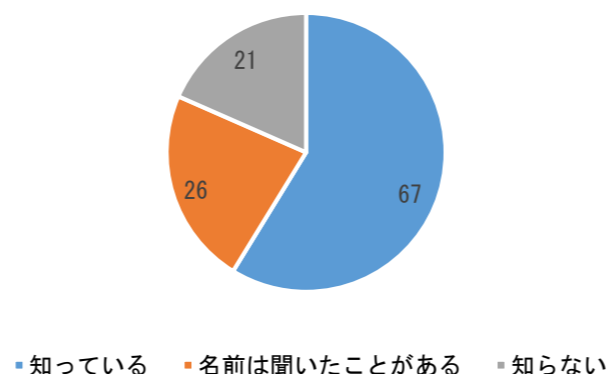
問1 年齢は？ (n=115)



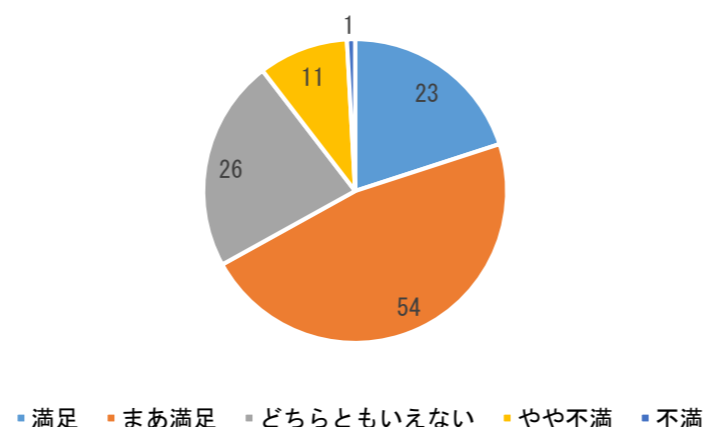
問2 お住まいは？ (n=117)



問3 みんなの会の認知度 (n=114)



問4 菱野団地の満足度 (n=115)



問5 菱野団地の居住意向 (n=117)



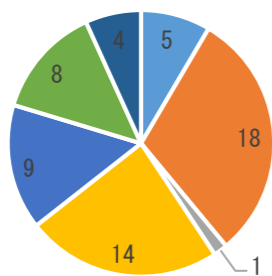
【自由意見】

- ・色々なお店ができてほしい。(4)
- ・スーパーがほしい。(4)
- ・トイレがほしい。(4)
- ・交通の便を増やしてほしい。(3)
- ・若い人が増えてほしい。(3)
- ・バスの本数が増えてほしい。(2)
- ・駐車場をつかってほしい。(2)
- ・病院を誘致してほしい。(2)
- ・高齢者の拠り所をつかってほしい。(2)
- ・舗道の整備が必要
- ・高齢化社会であることに対して一人で暮らしていけるか心配
- ・環境等の住民意識が今以上に高くなるとよい。
- ・もう少しいろいろな体験を気軽にできる場があるとよい。
- ・頑張って盛り上げましょう。
- ・良い街です。
- ・最近すごく熱心に地域のための行事をしてみえますので、感謝しています。
- ・にぎわいが戻りつつあり嬉しいです。
- ・通院に便利でした。商店はもちろん通院も同時にできるのはありがたいです。
- ・過疎化する地域で青年層が魅力を感じる文化をつくれなと思っています。
- ・今後10年が勝負だと思います。
- ・中央広場をみんなが集える場にしたい。
- ・高齢化により自治会活動が難しくなってきたので若い人に参加していただき、明るい団地に育てていってくださることを期待します。
- ・毎日感謝して生活しています。
- ・坂が多いので買い物に大変です。
- ・若い人たちが少なくなってしまっって昔の活気がなくなりましたが、少しずつイベントも増えて今後に期待している。
- ・コロナで50周年が盛り上がりませんでしたのでイベントをやってほしい。
- ・子どもたちが学習できる憩いの場 (ex. さとの家のような) を提供してほしい。
- ・住民バスはとてありがたいです。
- ・イベントを増やしてください。

《アンケートの概要》

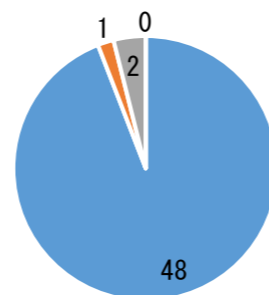
団地内の居住者は、瀬戸現代美術展 2022 の期間中 (9/17~10/23)、ひしのミナクル内でアンケートへの回答と引き換えに観覧券を配布した。  
集計数は 117 人分である。

問1 年齢は？（n=59）



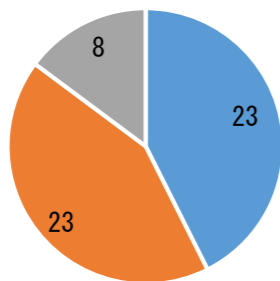
10才未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

問4 夏まつりの感想は？（n=51）



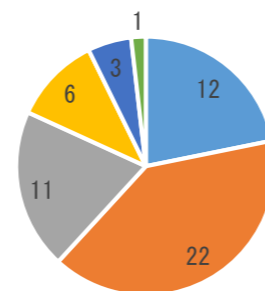
おもしろかった 期待はずれだった その他 ほとんどなかった

問2 お住まいは？（n=54）



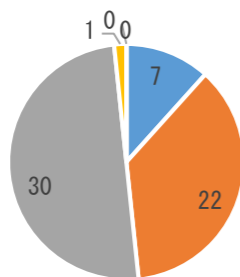
菱野団地内 瀬戸市内 その他

問5 中央広場に来る頻度は？（n=55）



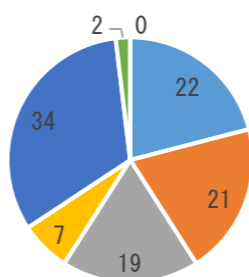
日常的に来る・しばしば来る たまに来る イベントがある時のみ来る ほとんど来ない はじめて その他

問3 誰と来たか？（n=60）



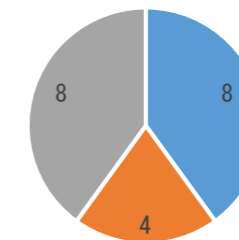
ひとりで 友だち 家族 恋人 同僚 その他

問6 中央広場がどうなったらいいか？（複数回答可）



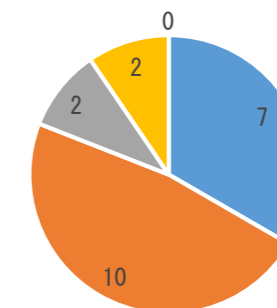
思いっきり走ったりボール投げなどができるだっ広い広場  
遊んだり寝転んだりできる芝生の広場  
花だんや植物、木など季節の変化が感じられる広場  
菱野団地を象徴するオブジェや装飾（かざり）が見られる広場  
マルシェなどのイベントが定期的に行われる広場  
広場はなくなってもいいからトイレが欲しい  
その他

問7 みんなの会の認知度（n=20）



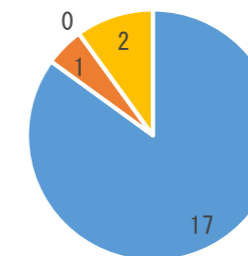
知っている 名前は聞いたことがある 知らない

問8 菱野団地の満足度（n=21）



満足 まあ満足 どちらともいえない やや不満 不満

問9 菱野団地の居留意向（n=20）



今の場所で住み続けたい  
団地内の商店やバス停に近い場所に移りたい  
市内の他の地域に移りたい  
市外に移りたい

【自由意見】

- ・ 駐車場を多くしてほしい。
- ・ 昔のようにこの場所で毎年夏まつりをしてほしい。
- ・ お店の数を増やしてほしい。
- ・ もっと若い世代の人たちが住んでほしい。

《アンケートの概要》

8月27日に行ったわいわい夏まつりにおいて、来場者に回答を求めたもの。集計数は54だが、重複回答しているものもあったため各問の集計数に誤差あり。